



図書館員が選んだおすすめの絵本

発行：平成3年3月15日  
第2訂：平成27年10月27日  
発行者：静岡市立図書館

静岡市葵区大岩本町29番1号  
TEL:054-247-6711



図書館員が選んだおすすめの絵本



静岡市立図書館



“ばーった”は、席や場所、物など、たくさんの人に選択権のあるものを、いち早く確保する、占有するという意味の静岡の方言です。

## はじめに

近年、様々な情報メディアの普及や生活環境の変化などにより、子どもの読書を取り巻く社会状況は大きな転換期を迎えています。

平成13年に制定された『子どもの読書活動の推進に関する法律』では、子どもにとっての読書の重要性が明記されており、本市においても平成27年3月に『第3次静岡市子ども読書活動推進計画』を策定しました。家庭・学校・地域等が連携し、読書環境の整備・充実を図ることで、子どもたちのより豊かな読書活動を目指しています。

その取り組みのひとつとしてブックリストの作成・改訂が挙げられます。ブックリスト『このほんばーった！ 図書館員が選んだおすすめの絵本』は、平成3年の発行、平成19年の全面改訂を経て、今回、新たな絵本の追加等を行いました。静岡市立図書館全12館の児童サービス担当者が、子どもたちにおすすめしたい絵本242冊を紹介しています。

このブックリストが皆さまの絵本を選ぶ一助となり、すべての子どもたちに読書の喜びが届くことを願っています。

平成27年10月

静岡市立中央図書館  
館長 矢澤 嘉章

## この冊子の 使いかた

- ①対象年齢別・書名順に紹介しています。
- ②絵本の分類は『E』です。
- ③静岡市立図書館では、作家（絵を描いた人）の名前（姓）の50音順に並んでいます。
- ④絵本の背に作家の名前（姓）の2文字または3文字のラベルが貼ってあります。  
※作家の名前は、TRC人名典拠録によるものです。
- ⑤ラベルの色は次のとおりです。

■ア行……赤	■カ行……水色	■サ行……黄緑
■タ行……ピンク	■ナ行……青	■ハ行……オレンジ
■マ行……緑	■ヤ・ラ・ワ行……黄色	

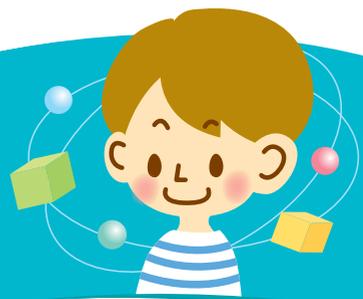
- ⑥この冊子の著者名等は、絵本の表紙に記されているものを掲載しています。
- ⑦対象年齢は、あくまでも目安です。
- ⑧さくいんの著者・画家名は、TRC人名典拠録によるものです。

この冊子は、『このほんばーった!』（旧静岡市平成3年発行）と『おはなしのとびら』（旧清水市平成7年発行）を見直し、改訂した『このほんばーった!』（静岡市平成19年発行）の二訂版です。

## 目次

3歳から楽しめる絵本	4	3歳
4・5歳から楽しめる絵本	11	4・5歳
6歳から楽しめる絵本	30	6歳
かがくに触れる絵本	40	かがく
ことばで遊ぶ絵本	41	ことば
グリム童話の絵本	41	グリム
日本のむかしばなし絵本	42	日本
世界のむかしばなし絵本	43	世界
さくいん【書名】	44	
さくいん【著者・画家名】	47	

# 3歳から 楽しめる絵本



……赤ちゃん絵本を卒業したら……  
＝おすすめの35冊＝



## あおくんと きいろちゃん

レオ・レオ二 作  
藤田圭雄 訳  
至光社

レオ二

あおくんには、お友だちがたくさん。でも一番の仲良しは、きいろちゃんです。ある日、お留守番をしていたあおくんは、きいろちゃんと遊びたくてたまらなくなってしまいました。顔のない、ただの丸なのに、ふたりの心が伝わってきます。

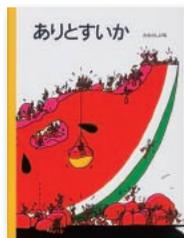


## あくび

中川ひろたか 文  
飯野和好 絵  
文溪堂

イイノ

初めにかばがあくびをしました。「フー」それを見たきりんも「フー」。あくびが次々にうつっていきます。鮮やかな色彩で特徴的に描かれた大あくびの姿は、見るだけでくすぐってしまいます。ゆったりとした気分の時にぴったりの一冊です。



## ありとすいか

たむらしげる  
ポプラ社

タムラ

ある暑い夏の午後のこと、ありがすいかを見つけました。「これはうまいぞ。巣に運ぼう」ところがすいかは、びくともしません。ありは仲間を呼んできました。懸命にすいかを運び、必死に食べるありたち。そして最後には、楽しい遊びが待っています。



## アンガスと あひる

マージョリー・フラック  
さくえ  
瀬田貞二 やく  
福音館書店

フラツ

子犬のアンガスは、とても知りたがりや。そんなアンガスが一番知りたかったのは、生け垣の向こうの「ガー、ガー」というやかましい音の正体でした。ある日、ドアが開いているのに気づいたアンガスは、垣根の下にもぐりこみ、ついに向こう側に出たのです。



## いたずら こねこ

パーデン・クック ぶん  
シミ・シャル・リップ え  
まさきりこ やく  
福音館書店

シヤリ

小さなカメは、小さな庭の小さな池に住んでいました。となりの家には、とてもいたずら好きなこねこが住んでいました。池から出てきたカメに、用心しながら近づくとこねこ。前足でカメをポンとたたきました。こねこの驚きが、鉛筆画で丁寧に描かれています。



## うみへいく ピンポンバス

竹下文字 作  
鈴木まもる 絵  
偕成社

ススキ

駅前のバスターミナルに並んだたくさんのバス。青いバスは、岬灯台行きです。パン屋さんの前、消防署の隣、売店の前に停まって、バスは坂道を登っていきます。暗いトンネルを抜けると、きらきら光る海が見えました。「ピンポン」灯台入口に到着です。



## おたすけ こびと

なかがわちひろ 文  
ココセ・ジュンジ 絵  
徳間書店

ココセ

お母さんが、電話で何かを頼みました。「さあ、仕事だ!! おたすけこびとたちが、いっせいに走り出します。ブルドーザーやショベルカーに乗り込み向かった先には、卵にバター、小麦粉、砂糖、膨らし粉が。さて、こびとたちは何をするのでしょうか。



## おちやのじかんに きたとら

ジュディス・カー 作  
晴海耕平 訳  
童話館出版

ケル

ソフィーとお母さんがお茶の時間にしようとしていると、玄関のベルが鳴りました。「お茶の時間に、ご一緒させていただけませんか?」そこにいたのは大きなトラでした!「いいですよ」と招き入れると、トラは家中のものを食べ尽くしてしまいました。



## かばくん

岸田衿子 さく  
中谷千代子 え  
福音館書店

ナカタ

ねぼすけのかばくんを見に、日曜日の動物園には、子どもたちが大勢やってきます。そんな中でも、かばくんはマイペース。水の中から子どもたちを眺めて、ごはんを食べて、夜が来たら眠ります。やさしい言葉と絵が、かばくんの穏やかな性格を描いています。

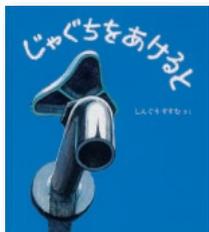


## くさをはむ

おくはらゆめ  
講談社

オクハ

ぼくらは、毎日草をはむ。朝も昼も晩も草をはむ。ぼくは、ときどき草になってみる。太陽に向かって、ぐんぐん伸びる。「まあ、こんな所においしい草がある」そう言って母さんが、ぼくのほつぺたをそっとはんでくれました。



### じゃぐちをあけると

しんぐらすむ さく  
福音館書店

シンク

水道のじゃぐちから出てくる水。指で触れたり、コップやスプーンに当てたりすると、いろいろな形に変わります。毎日使う水も、子どもにとっては不思議がいっぱい!生活の中にあるちょっとしたわくわくに、気づかせてくれる1冊です。



### ぞうくんのさんぽ

なかのひろたか さくえ  
なかのまさたか レタリング  
福音館書店

ナカノ

天気良くてご機嫌なぞうくん。「どれどれ、散歩にでかけよう」かばくんとわにくんを背中に乗せて、散歩を続けるぞうくんは力持ち!そして、かめくんにも出会いますが……。実兄のなかのまさたか氏による、手書きの文字にも味があります。



### ちいさなちいさなおんなのこ

フィリス・クラシロフスキー

文  
ニノン 絵  
福本友美子 訳  
福音館書店

ニノン

昔々あるところに小さな小さな女の子がいました。近所の誰よりも小さな女の子は、ある日、少しずつ大きくなっていることに気が付きます。できることも増えてきて、ついにはお姉さんになります。小さな女の子の成長物語です。



### ちいさなねこ

石井桃子 さく  
横内襄 え  
福音館書店

ヨコウ

お母さんねこが見ていないうちに、ひとりでお母さんねこが見ていないうちに、ひとり走って出かけていく小さなねこ。子どもにつかまえられたり、大きな犬におせんぼされたり、追いかけられたりと、外には危険がいっぱい!お母さんねこの愛情が感じられる一冊です。



### ちいさなヒッポ

マーシャ=ブラウン さく  
うちだりさこ やく  
偕成社

フラウ

ヒッポはカバの赤ちゃん。生まれた時からお母さんのそばを離れたことがありません。そんなヒッポが言葉を覚える時が来ました。大事な言葉、危険を知らせる言葉をヒッポはうまく言えるでしょうか。迫力いっぱい!の版画絵本です。



### ちびゴリラのちびちび

ルース・ボーンスタイン さく  
いわたみみ やく  
ほるぶ出版

ホンス

お母さんもお父さんも、へびもキリンも、森の動物たちはみんなちびゴリラのちびちびが大好きです。ちびちびは、どんどんどんどん大きくなっていきました。愛情を一杯に受けて育つゴリラの成長を、あたたかく描いています。

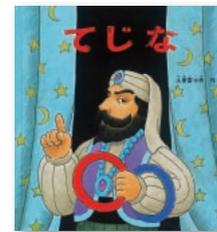


### ティッチ

パット・ハッチンス さくえ  
いしいももこ やく  
福音館書店

ハツチ

ティッチは小さな男の子。お姉さんのメアリとお兄さんのピートは、いつもティッチの持っているものよりいいものを持っていました。でも、ティッチの持っている小さな種を植えたら……。兄弟のいるお子さんにおすすめの一冊です。



### てじな

土屋富士夫 作  
福音館書店

ツチヤ

怪しげな手品師が登場しました。手品師と一緒に魔法の言葉を唱えてみましょう。「あんどら、いんどら、うんどら!」さて、何が起こるのでしょうか?ページをめくるのが楽しい、穴の開いた仕掛けがある絵本です。



### でんしゃにのったよ

岡本雄司 さく  
福音館書店

オカモ

三つの電車を乗り継いで、ぼくはお母さんと、いとこのしんちゃんへ向かいます。川にかかった鉄橋を越え、駅弁を買って、最後には新幹線に乗ります。細かな部分まで丁寧に描かれていて、一緒に旅をしているような気分になることでしょう。



### でんしゃにのって

とよたかすひこ  
アリス館

トヨタ

うらちゃん、電車に乗っておばあちゃんのところへひとりでお出かけです。降りる駅は「ここだ」駅。お土産と切符をしっかりとって、おでかけの始まり始まり。次の駅は「わにだ」駅。どんなお客さんが乗って来るのかな?

## =ちょっとひとやすみ①=

絵本は子どもに読ませるものではなく、大人が読んであげるものです。絵本は喜びと楽しみを与えてくれます。また、大好きなお母さんやお父さんが読んでくれること自体が、子どもにはうれしいのです。1冊の絵本をともし、親と子の気持ちが寄り添い、通い合います。絵本の読み聞かせタイムを、**しあわせタイム**にしてください。





### とりかえっこ

さとうわきこ 作  
二俣英五郎 絵  
ポプラ社

フタマ

「びよびよ」と鳴きながら遊びに出かけたひよこは、ねずみと出合って鳴き声をとりかえっこしました。ひよこは「ちゅうちゅう」と鳴きながら歩いて行きますが、次々と出会う動物たちと鳴き声のとりかえっこをしていきます。くり返しが楽しい絵本です。



### とんとんとめてくださいな

こいでたん ぶん  
こいでやすこ え  
福音館書店

コイテ

ハイキングの帰りに道に迷った3匹のねずみは、森の中で見つけた家に泊めてもらうことにしました。ところが家には誰もいません。後からやってきた動物たちと休んでいると、黒い大きなものがにゅうっと入ってきて……。室内の描写にも注目です。



### なにをたべてきたの?

岸田 裕子 文  
長野博一 絵  
佼成出版社

ナカノ

お腹を空かせたしろぶたくんは、おいしそうなきれいなりんごを見つけて食べました。すると、しろぶたくんの体がきれいなりんごの色になりました。次々と果物を食べていくしろぶたくん。最後に見つけたのは石けんで……。想像がふくらむ絵本です。



### ねずみくんのチョコキ

なかえよしを 作  
上野紀子 絵  
ポプラ社

ウエノ

お母さんが編んでくれた赤いチョコキ。ねずみくんにぴったりです。そこへあひるくんがやってきて、「いいチョコキだね。ちょっときせてよ」。ねずみくんのチョコキを、動物たちが次々に借りていって……。動物たちの表情にも注目です。



### のろまなローラー

小出正吾 さく  
山本忠敬 え  
福音館書店

ヤマモ

ごろごろと、ローラーはでこぼこ道を今日もゆっくりきれいに直しています。そこへ、ぶつぶつぶとやって来たトラックが、ローラーをしっかりとけながら追い越しました。ところが……。大好きな乗り物が活躍する姿に、心躍らせることでしょう。



### はらぺこあおむし

エリック=カル さく  
もりひさし やく  
偕成社

カル

あたたかい日曜日の朝、たまごからちっぽけなあおむしが生まれました。あおむしはお腹がぺこぺこ。月曜日、りんごを1つ食べました。火曜日、なしを2つ食べました。土曜日、ついにお腹が痛くなって……。展開がおもしろい、穴の開いたしかけ絵本です。



### パンやのくまさん

フィービと  
セルビ・ウージントン  
さくえ  
まさきりこ やく  
福音館書店

ウオシ

礼儀正しくて、みんなに愛されているパン屋のくまさん。朝とても早く起きてパンを焼きます。焼いたパンの半分をお店に並べて、半分を車に積み込み、通りで売ります。そして、お誕生日ケーキを届けた後はお店番。働き者のくまさんの一日を見てみましょう。



### ピーターのいす

E=ジャック=キーツ さく  
きしまはじめ やく  
偕成社

キツ

お兄ちゃんになったピーターは、自分の赤ちゃん家具が妹用に塗り替えられていくことに我慢なりません。まだ塗られていない椅子を持って家出を決めますが、その椅子はもうピーターには小さくて……。色鮮やかなカラージュが美しい絵本です。



### ぼくにげちゃうよ

マーガレット=W=ブラウン  
ぶん  
クレメント=ハード え  
いわたみみ やく  
ほるぶ出版

ハト

家を出て、どこかに行きたくなった子うさぎ。子うさぎが魚になっても山の上の岩になっても、母さんは漁師になって登山家になって、おまえを追いかけてますよ。だって、おまえは可愛い私のぼうやだもの。母親の愛情あふれる温かな絵本です。



### ぼくはブルドーザー!

三浦太郎  
こぐま社

ミウラ

働く車が大好きな男の子が、砂場にやってきました。今日はまだ誰もいません。よし、大きなお城をつくるぞ!ブルドーザーのように砂を集めたり、ショベルカーのように掘ったりしていきます。男の子が働く車になりきって砂場遊びを存分に楽しめます。

## =ちょっとひとやすみ②=

3歳ぐらいになると、子どもの活動範囲が広がります。それと同時に、楽しめる絵本も多くなっていきます。主人公を自分と置き換え、一体化する作業ができるようになると、絵本の世界に入り込み、物語をたっぷり楽しむことを覚えます。耳から**リズムカルな言葉**を聞き入れ、目からは**その場面を的確に語っている絵**を読み取っていきます。さあ、じっくり楽しみましょう。



# 4・5歳から 楽しめる絵本



……おはなしを楽しめるようになったら……  
＝おすすめの96冊＝



## まるまるまるのほん

エルヴェ・テュレ さく  
たにかわしゅんたろう  
やく  
ポプラ社

テュレ

絵本のページがまるでタッチパネルのよう！  
まるを押したり、こすったり、クリックしたり。  
本を揺すったり、傾けたり、立たせたり。まるで  
生きているかのようなまるを使って遊ぶ絵本  
です。



## もこもこもこ

たにかわしゅんたろう  
さく  
もとながさだまさ  
え  
文研出版

モトナ

表紙を開くとそこにあるのは、青い空と紫の  
地面。そして、「しーん」とだけの文章。地平線  
に何かが「もこ」とあらわれました。そして、「も  
こもこ」と成長していきます。謎の物体の動き  
を擬音のみで表現。摩訶不思議な世界に吸い  
込まれてしまいます。



## ゆうちゃんのみきさーしゃ

村上祐子 さく  
片山健 え  
福音館書店

カタヤ

ゆうちゃんがお菓子の缶の上にコップを乗せ  
ると、歌う愉快的なミキサー車になりました。早  
速、乗り込んで食材探しに出発！みつばちからは  
ちみつを、牛に牛乳をもらってミキサー車のお  
腹でぐるぐる回せば……。さあ、どんな素敵な  
お菓子が出来るのでしょうか。



## わたしのワンピース

にしまきかやこ  
えとぶん  
こぐま社

ニシマ

まっ白なきれがふわふわと空から落ちてき  
ました。ウサギは、ミシンでワンピースを作りま  
す。まっ白なワンピースを着て散歩に出かけた  
はずなのに、花模様や水玉模様など、いろいろ  
な模様に大変身！わたしに似合うかしら？



## わにわにのお風呂

小風さち ぶん  
山口マオ え  
福音館書店

ヤマク

お風呂が大好きなワニのわにわに。お風呂の  
中でおもちゃで遊んだり、あぶくを飛ばしたり、  
歌をうたったりとても楽しそう！最後はゆっく  
り温まって……。あれれ、わにわににそんなことし  
ちゃうの？お風呂に入るのが楽しくなりそうな  
一冊です。



## あかちゃんがやってくる

ジョン・バーニンガム 作  
ヘレン・オクセンバリー 絵  
谷川俊太郎 訳  
イースト・プレス

オクセ

お母さんに「赤ちゃんが来るのよ」と告げ  
られた男の子。いつ来るの？なんて名前にす  
るの？来ないでって言えないの？でも、最後には  
「ぼくたち赤ちゃんが大好きになるんだよ  
ね？」男の子の、子どもらしい心の変化が微笑ま  
しい絵本です。



## 雨、あめ

ピーター・スピア  
評論社

スピア

姉弟が遊んでいると雨が降ってきました。  
急いで家に戻り、カッパと長ぐつを履いて準備  
は万端。再び、雨が降りしきる庭へ遊びに出掛  
けます。雨の中の動物を観察するなど、遊び回  
る姉弟の姿を一切の文章を使わず、イラストの  
みで描いたスピアの代表作です。



## ありこのおつかい

いしいももこ さく  
ながかわそうや え  
福音館書店

ナカカ

ありのありこは、おつかいの途中に道草を  
して、かまきりに飲み込まれてしまいます。そし  
て、かまきりはむくどりの、むくどりはやまねこ  
の、やまねこは熊のお腹の中へ。熊のお母さん  
がおしりを叩くと、飲み込まれた動物たちが飛  
び出してきました。



## イエベはぼうしがだいすき

石亀泰郎  
文化出版局

イシカ

イエベは、デンマークのコペンハーゲンに住  
む3歳の男の子。帽子が大好きで、どんなときで  
もかぶっています。みんながからかうので、  
ある日帽子をかぶらずに保育園へ行きました。  
すると、いつもの元気が出なくて、先生に心配  
されてしまいます。



### いちごばたけのちいさなおばあさん

わたりもつこ さく  
中谷千代子 え  
福音館書店

ナカタ

あおあおとした葉を広げ、星のような花が咲き、あおいちごの実がなりました。そのいちご畑の土の中に、小さなおばあさんが住んでいます。おばあさんには、大切な仕事があります。いったいどんな仕事なのでしょう。



### うんちしたのほだれよ!

ヴェルナー・ホルツヴァルト  
文  
ヴォルフ・エールブルフ  
絵  
関口裕昭 訳  
偕成社

エアル

ある日のこと、もぐらくんが地面から顔を出すと、事件が起こりました。「誰だ、ぼくの頭にうんちなんかしたやつは?」さっそく、犯人探しに乗り出します。一体、誰がこんな悪さをしたのでしょうか?



### うんちっち

ステファニー・ブレイク 作  
ふしみみさを 訳  
あすなろ書房

フレイ

うさぎの子はひとつしか言葉を話しません。お母さんやお父さんが何を言っても、いつも答えは「うんちっち」。そんなある日、オオカミがやってきて……。テンポよくくり返される「うんちっち」について笑いがこみ上げてきます。



### エイモスさんがかぜをひくと

フィリップ・C・ステッド 文  
エリン・E・ステッド 絵  
青山南 訳  
光村教育図書

ステツ

動物園で働くエイモスさんには、仲良しの動物がたくさんいます。仕事の合間には、毎日動物たちの所に出掛けます。ある日の朝、エイモスさんは風邪をひいて動物園をお休みしました。動物たちはエイモスさんが気になって仕方がありません。



### おおかみのおいしゃさん

オルガ・ルカイウ  
文・絵  
こだましおり 訳  
岩波書店

ルカイ

朝から具合の悪い、子うさぎのマルク。お母さんが、もぐらや犬など様々なお医者さんに診せますが、変な治療ばかりで治りません。そんなマルクを診てくれたのはなんと、うさぎの敵のおおかみのお医者さん。マルクの病気は治るのでしょうか。



### おおきくなるって いうことは

中川ひろたか 文  
村上康成 絵  
童心社

ムラカ

大きくなるって、どんなこと?洋服が小さくなること、新しい歯が生えて来ること、それからあんまり泣かないこと。他にもたくさんあるのです。どんどん大きくなっていくみんなへ贈るお話です。



### おさと ぼうしうり

エスフィール・スロポドキーナ  
さく・え  
まつおかきょうこ やく  
福音館書店

スロホ

自分の頭の上に、帽子を積み重ねて売り歩く帽子売りがいました。ある日、この帽子売りが木の下で昼寝をして目覚めると、売り物の帽子が全部無くなっていました。犯人は、木の上にいたおさるたちでした。取り返すことはできるのでしょうか。



### お月さまって どんなあじ?

マイケル・グレイニエツ  
絵と文  
いずみちほこ 訳  
らんか社

クレニ

「お月さまってどんな味なんだろう」動物たちは、お月さまを見るたびに疑問に思っていました。協力し合って月に近づく動物たちと、逃げるお月さまとのゲームの行方は……。温もりを感じるイラストで描かれています。

## ＝ちょっとひとやすみ③＝

「この本、読んで!」今夜もわが家の王子様・お姫様は、昨日と同じ本を持ってきます。ここで「この本はもう読んだでしょ!」と突き放さないでください。同じ本でも読んであげましょう。その子にとって新しい発見があったり、確認したいことがあったりと、そのたびごとに楽しんでいるのです。たとえそれが50回でも、100回でも……。親にとっても忘れられない1冊になりますよ。



### おならうた

谷川俊太郎 原詩  
飯野和好 絵  
絵本館

イノ

谷川俊太郎氏の詩「おならうた」に、画家の飯野和好氏が絵を付けました。「いもくってぶ」「わらってび」とリズムカルで楽しいおならが笑いを誘う絵本です。

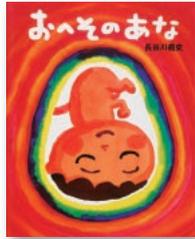


### おふろ だいすき

松岡享子 作  
林明子 絵  
福音館書店

ハヤシ

ぼくとあひるのブッカがお風呂に入っていると、お湯の中からカメが現れました。続いてペンギン、オットセイ、カバやくじらがぞくぞく登場!みんなでいっぱい遊んでお風呂を出ると、お母さんが湯上りタオルを広げて待っていました。ぼく、おふろだいすき。



### おへそのあな

長谷川義史  
BL出版

ハセカ

お母さんのお腹の中の赤ちゃんがおへその穴からそっとのぞくと、誕生を待ちこがれている家族の様子が見えました。赤ちゃんはおへその穴を通じて、風の音、鳥の声、花の咲く音まで感じているのです。お腹の中の赤ちゃんの気持ちかわかる一冊です。



### おりこうな アニカ

エルサ・ベスコフ  
さく・え  
いしいとこ やく  
福音館書店

ヘスコ

アニカは自分のことは何でもできる、おりこうな女の子。ある日、壊れた柵から牛が出ていかなないように、牧場で見張りをすることになりました。牛は逃げ出そうとしますが、犬や小人たちと出会い、みんなに助けられます。スウェーデンの自然がのびやかに描かれています。



### がたごと がたごと

内田麟太郎 文  
西村繁男 絵  
童心社

ニシム

町をぬけ、野を越え山越え、がたごとがたごと列車が走ります。駅に着くたびに降りるお客さんは、動物になったり妖怪になったり。次に降りて来るのはどんなお客さんでしょうか。不思議な世界へ連れて行ってくれる楽しい絵本です。



### からすのパンやさん

かこさとし  
偕成社

カコ

いすみがもりのパン屋さんに、4羽の赤ちゃんからすが生まれました。子育てに忙しい夫婦は、パンをこがしたり、お客さんを待たせたりして、だんだん貧乏に。でも、おやつにしていた残り物のパンが、子どもたちの話題になって……。楽しいパンに目が釘づけです。



### かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック さく  
じんぐうてるお やく  
富山房

センタ

いたすらが過ぎて寝室に放り込まれたマックス。すると寝室が森や海に大変化!かいじゅうの島に流れ着いて大はしゃぎします。そのうち寂しくなって来たので、かいじゅうたちと別れて寝室に戻ると、まだ温かい夕食が待っていました。独特の描き方が魅力です。



### かさ

太田大八 作・絵  
文研出版

オオタ

赤い傘をさした女の子が、大きな黒い傘を持って、お父さんを駅までお迎えに行きます。墨一色で描かれた町と傘の朱色だけの色使いですが、不思議なことに色彩を感じさせます。文字はありませんが、女の子とお父さんの様子がいきいきと描かれています。



### ガンピーさんのふなあそび

ジョン・バーニンガム さく  
みつよしなつや やく  
ほるぶ出版

ハニ

ガンピーさんが舟で出かけている途中、子どもやうさぎ、猫や犬などが次々と乗り込んで来ました。さて、ガンピーさんの言う通り大人しく乗っていられるのでしょうか。深みのあるバーニンガム独自の色合いや筆づかいが特徴の、やさしいタッチの絵本です。



### 木はいいなあ

ユードリイ さく  
シーモント え  
さいおんじさちこ やく  
偕成社

サイモ

「木はいいなあ」さて、どんなところがいいのでしょうか。たとえば、夏のそよ風の中で葉っぱの吹く口笛を聞くことができるし、木陰ではお弁当を食べることができる。風が来ても吹き飛ばされないように家を守ってくれる。ほら、木があるっていいでしょう?

## ＝ちょっとひとやすみ④＝

色彩豊かな絵の絵本は、確かに眼を引きまします。しかし、白黒の絵であっても、子どもたちの心をつかんで離さないものもあります。その絵が物語を語り、絵を見ただけで話の筋が読み取れるものです。優れた画家といわれる人たちの絵は、ページのすみすみまで子どもの目を、心を楽しませてくれます。



### キャベツくん

長新太 文・絵  
文研出版

チヨウ

はらぺこのブタヤマさんに食べられそうになったキャベツくんは、「ぼくを食べるとキャベツになるよ」と言います。空を見上げると鼻がキャベツになったブタヤマさんが!じゃあへびがキャベツくんを食べたらどうなるの?長新太のナンセンス絵本の代表作。



### きょうのごはん

加藤休三  
偕成社

カトウ

商店街は夕飯の買い物客で賑わい、それぞれの家からはいい匂いがしています。1匹の猫が家々をまわりメニューをチェック。さんまにカレー、手作りコロッケ、お祝いのお寿司と様々。湯気が出てきそうな絵に、「今日のごはんはなに?」と聞きたくなります。



**きょうはみんなでクマがりだ**

マイケル・ローゼン 再話  
ヘレン・オクセンバリー 絵  
山口文生 訳  
評論社

オクセ

赤ちゃんも入れて5人と犬1匹が「今日はみんなでクマ狩りだ。つかまえるのはおかいやつ……」といいながら、草原、川、ぬかるみを勇ましく冒険します。そしてついにほら穴でクマ発見。でも、あわてて逃げて家の中へ。あそび歌を元にした絵本です。



**きよだいな きよだいな**

長谷川摂子 作  
降矢なな 絵  
福音館書店

フリヤ

「あったとさ、あったとさ」の言葉で、広い野原に巨大なものが次々に現れます。思いっきり遊ぶ100人の子どもと、それをじっとながめる子ぎつね。リズムカルな文と元氣な絵が、心をわくわくさせる楽しい絵本です。



**くまのコールテンくん**

ドン=フリーマン さく  
まつおかきょうこ やく  
偕成社

フリマ

コールテンは、デパートのおもちゃ売り場に住むくまのぬいぐるみ。誰かに買ってもらえるのを待っています。ある日、女の子がコールテンを気に入りませんが、服のボタンが取れているのでお母さんに買ってもらえません。コールテンは夜のデパートへボタンを探しに行きました。



**くものすおやぶん とりものちよう**

秋山あゆ子 さく  
福音館書店

アキヤ

春祭りを控えた前日、盗っ人から祭りのお菓子を盗む予告状が。盗っ人は、姿の見えないかぐればね。むしの町を取り締まる蜘蛛の巣親分は、巣を張って待ち構えますが……。果たして無事に捕まえられるでしょうか。



**ぐりとぐら**

ながわりえこと  
おおむらゆりこ  
福音館書店

オオム

野ねすみの仲よしコンビぐりとぐらは、お料理と食べるのが大好き。今日も森へ材料を集めに出かけると、とても大きな卵を見つめます。2人で力を合わせてカステラを作ることに。美味しそうなおいに誘われて、森の動物たちが集まって来ました。



**ぐるんぱのようちえん**

西内ミナミ さく  
堀内誠一 え  
福音館書店

ホリウ

大きなぞうのぐるんぱは、森を出て町で働くことに。張り切って働くのですが、ぐるんぱの作る物が大きすぎて働く先々でクビになってしまいます。しかしぐるんぱは、忙しいお母さんと12人の子どもたちと出会い、自分の居場所を見つけるのです。



**くんちゃんのだいいょうごう**

ドロシー・マリノ 文・絵  
石井桃子 訳  
岩波書店

マリノ

冬のある日、こぐまのくんちゃんは鳥と一緒に南の国へ旅行してみたくになりました。お父さんの許しをもらい、さあ出発!ところが、お母さんにさようならのキスをして来なかった事を思い出し……。お茶目なくんちゃんのゆかいなお話。



**げんきなマドレーヌ**

ルドウィッヒ・ベームルマン  
作・画  
瀬田貞二 訳  
福音館書店

ヘメル

パリの寄宿学校に12人の女の子が暮らしています。中でもマドレーヌは、一番小さいけれどとても元氣な女の子。ある晩、マドレーヌは盲腸炎で入院します。お見舞いに行った11人は、病室でおもちゃや人形、そして、マドレーヌの立派なお腹の傷を見てびっくり!

＝ちょっとひとやすみ⑤＝

ハラハラ・ドキドキのお話は、子どもたちみんなが大好きです。怖いお話も、自分を守ってくれるお父さんやお母さんの膝の上なら大丈夫。思い切り冒険を楽しんで、最後は自分を守ってくれる、**親という最も安全な場所**に帰ってくる事ができるからです。



**こすずめのぼうげん**

ルース・  
エイズワース 作  
石井桃子 訳  
堀内誠一 画  
福音館書店

ホリウ

飛び方を教わっていた子すずめ。自分の力で飛べることを知り、広い世界を見たいと飛び立ちました。やがて飛び疲れた子すずめは、休み場所を求めますが、行く先々で他の鳥たちに断られ……。初めて親元を離れるドキドキした冒険心を味わえます。



**こねこのびっち**

ハンス・フィッシャー  
文・絵  
石井桃子 訳  
岩波書店

フイツ

りげつとおばあさんと一緒に暮らす5匹の子猫。一番小さいびっちは、他の子猫とは遊ばず、猫以外の動物のまねばかり。あひるのまねをして池に落ちたり、うさぎと小屋に入って、きつねに襲われそうになったり。そんな愛くるしいびっちがみんな大好きなのです。

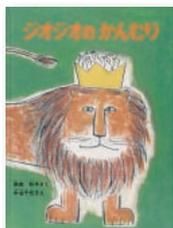


**これはなみだ?**

栗林慧 写真  
長新太 文  
福音館書店

クリハ

ありが葉っぱの上のしずくに集まってきました。このしずくは、しょっぱい?それとも甘い?ページをめくると、その疑問は膨らんでいきます。ミクロの世界が繰り広げる写真絵本です。



**ジオジオのかんむり**

岸田衿子 さく  
中谷千代子 え  
福音館書店

ナカタ

頭に冠が光るライオンの王様のジオジオは、老年になり、他の動物が怖がって近寄らないことを寂しく思うようになりました。ひょうやへびにとられたり、落としたりして卵を育てられないという小鳥の悩みを聞いたジオジオは、自分の冠の中で育てることを提案します。



**11ぴきのねこ**

馬場のぼる  
こくま社

八八

いつもお腹をすかせている11匹ののらねこ達。ある日おじいさんねこに、大きな魚がいることを教えてもらい、皆で力を合わせて捕まえることに。ところが大きな魚も手強くて……。ねこ達は、無事に魚を捕まえられますでしょうか?シリーズで6冊出ています。



**14ひきのひっこし**

いわむらかずお  
童心社

イワム

ある秋の日、総勢14匹のねずみの家族が森の奥へお引越しに出発しました。岩を登り、川を渡り、ようやく新しいすみかを見つけ、家族全員で家作りを始めます。皆で助け合いながら完成した新しい家で食べる夕ごはんは格別です。大人気シリーズの1作目です。



**しゅうぼうじどうしゃじぶた**

渡辺茂男 さく  
山本忠敬 え  
福音館書店

ヤマモ

じぶたは、ジープを改良し、小さなポンプを付けた、ちびっこ消防車。消防署のすみっこに置かれ、他の消防車よりも活躍が目立たないことを悲しく思っていました。ある時電話が鳴り、山小屋が火事との知らせが。狭い山道を登れるのは、じぶただけ。さあ出動です!



**しりとりのだいすきなおうさま**

中村翔子 作  
はたこうしろう 絵  
鈴木出版

ハタ

何でもしりとの順番でない気がすまない王様。夕食も、もちろんしりとり。家来たちはしりとりになるように必死で料理を出しますが、好物のプリンを出せずに王様から大目玉。次の朝、家来たちはトマトから出すことを王様に提案し、ある作戦に出ます。



**しんせつなともだち**

方軼羣 作  
君島久子 訳  
村山知義 画  
福音館書店

ムラヤ

寒い雪の日、食べ物を探しに出かけたうさぎは、カブを2つ見つけました。お腹を空かしているだろうと、そのうち1つをうさぎはろばへ届けます。ろばは子やぎへ、子やぎは子鹿へと、思いやりの心が届けられていきます。心温まるお話です。



**すてきな三にんぐみ**

トミー=アンゲラー さく  
いまえよしも やく  
偕成社

ウンケ

黒マントに黒い帽子の三人組の泥棒は、ある夜、宝の代わりにティファニーという名前の女の子を連れて帰ります。三人組の隠れ家では宝の山を見つけたティファニーに「これ、どうするの?」と聞かれた三人組は、すてきな使い道を考え出しました。



**せんたくかあちゃん**

さとうわきこ さく・え  
福音館書店

サトウ

洗濯するのが大好きなかあちゃん。今日もたらいでござい、ござい、あつという間に洗ってしまいます。ある日、雲から落ちてきたかみなりさままで、たらいの中へ放り込んでしまいました。たくましいかあちゃんの姿が、明るく楽しく描かれています。



**そらいろのたね**

なかがわりえこ  
おおむらゆりこ  
福音館書店

オオム

宝物の飛行機を、きつねの空色のたねと取り替えたゆうじ。庭に埋め、水をかけると、次の日には小さな空色の家が出てきました。毎日大きくなっていく家には、動物や子どもたちが集まってきます。それを見たきつねは、飛行機を返すと言い出しました。

＝ちょっとひとやすみ⑥＝

いろいろな分野の本を読んであげていたつもりなのに、絵本の好みが出てくることに驚かされます。うちの子は、車の絵本が大好き。何年もの間、宝物のようにどこへ行くにも一緒に、じっと見ていた絵本が『はたらくじどうしゃ』でした。しっかりと描きこまれた車たちに、大人も学ぶところがあります。子どもの**好奇心や興味を知り、疑問と発見、そして驚きを親子で共感**してください。





### そらめくんのベッド

なかやみわ  
さく・え  
福音館書店

ナカヤ

そらめくんの宝物はベッド。みんなが貸してと言ってもひとりじめ。そんなある日、そらめくんのベッドがなくなってしまいました。さんざん探して、やっと見つけたベッドは何と……。いろいろな豆のベッドを見比べてみるのもおもしろいです。



### ためきの おつきみ

内田麟太郎 作  
山本孝 絵  
岩崎書店

ヤマモ

季節は秋。今年は豊作。狸山のためきたちはお月様に豊作のお礼をしようと、お月見の準備に大忙しです。田んぼからお米を頂戴し、畑からおいもを頂戴し、おめかししてお化粧してお月様をお迎えます。さてさて、お月様は喜んでくれるのでしょうか。



### だるまちゃんとうさぎちゃん

加古里子  
さく・え  
福音館書店

カコ

だるまちゃんシリーズ第3弾。雪がどっさり積もった日、だるまちゃんはいろいろなものでうさぎを作ってうさぎちゃんたちに見せてあげます。おはなしを楽しんだ後は、実際に作って遊んでみるのもよいでしょう。遊びのヒントが盛りだくさんの絵本です。



### つきのぼうや

イブ・スパンゲオルセン さく・え  
やまのうちきよこ やく  
福音館書店

オルセ

お月様が夜空にのぼりました。ふと下を見ると、池の中にもう一人のお月様がいました。お月様は友達になりたいと思い、つきのぼうやにもう1人のお月様を連れて来て欲しいと頼みます。つきのぼうやは無事にお月様を連れて帰ることができるのでしょうか。

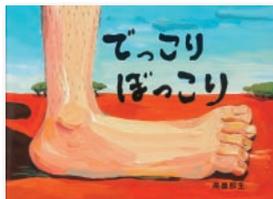


### でこちゃん

つちだのぶこ  
PHP研究所

ツチタ

明日は幼稚園。でこちゃんはお母さんに髪を切ってもらいます。チョコチョコチョコ。切り終わったでこちゃんは「でこちゃん」に大変身! でこちゃんのおでこを見て、家族はみんな大笑い。前髪、明日までに伸びるかな?



### でっこり ぼっこり

高島那生  
絵本館

タカハ

きょだいじんがマラソンを始めました。でっこりってぽった足あとや、ぼっこりへこんだ足あとが、地球にたくさん出来てしまいました。きょだいじんが地球を半分周ったところで、転んでしまい……。思わず納得するナンセンス絵本です。



### てぶくろがいっぱい

フローレンス・スロボドキン 文  
ルイス・スロボドキン 絵  
三原泉 訳  
借成社

スロホ

ふたごのネッドとドニーは雪の降る寒いところに住んでいます。ある日、ドニーが手袋を落としてしまいました。それを知った近所の人たちが、次々と捨てた手袋を届けてくれるのですが、ドニーのではなくて……。ふたごは元の持ち主に手袋を返すため、ある方法を思いつきます。



### ドアが あいて...

エルンスト・ヤンドゥル 作  
ノルマン・ユンゲ 絵  
斉藤洋 訳  
ほるぶ出版

ユンケ

しいんとしている病院の待合室。みんな心配そうな顔つきで順番を待っています。ドアが開いて、ひとり、またひとりと診察室へ入って行って、待っているのはどうとう僕一人。診察室にはどんな先生がいるのでしょうか。



### どうぞのいす

香山美子 作  
柿本幸造 絵  
ひさかたチャイルド

カキモ

うさぎさんは作った小さな椅子を、「どうぞのいす」という立て札と一緒に、大きな木の下に置きました。するとろぼさんがやってきて、どんぐりの入ったかごを置きました。思いやりの心が繋ぐ、ぐるぐる話の傑作です。



### どうぶつびょう院 おおいそがし

シャロン・レンタ  
さく・え  
まえざわあきえ やく  
岩崎書店

レンタ

ぼくのママはお医者さん。今日は一緒に出勤してママのお手伝いをします。ほどけなくなったへびさん、目覚まし時計を飲み込んだ犬さん。病院は患者さんで一杯です。ちゃんとママのお手伝いができるでしょうか。

## =ちょっとひとやすみ⑦=

子育てしていて、子どものためにも、親のためにも一番良かったことは「絵本の読み聞かせをしたことでした」とおっしゃる方がいます。子どもが成長する過程で、親が子どもに寄り添い、お互いの表情を見ながら、気持ちの揺れを感じながら、**共通の体験**をできるのは、読み聞かせに勝るものはないでしょう。自分が親に読んでもらった絵本を、今度は自分の子どもに読んであげよう。そんな世代の流れを体験できるのも、絵本の素晴らしいところです。





**としよかんねずみ**  
 ダニエル・カーク さく  
 わたなべてつた やく  
 瑞雲舎  
**カク**

サムは、図書館に住むねずみです。誰もいない夜は、思う存分本を読みます。ある時、自分で本を書いてみました。本棚に入れたサムの本は、子どもたちに大人気！新人作家さんにお目にかかりたいと、図書館の館長さんはサムへ手紙を書きました。



**トラのじゅうたんになりたかったトラ**  
 ジェラルド・ローズ  
 文・絵  
 ふしみみさを 訳  
 岩波書店  
**ロス**

インドのジャングルに住む年寄りのやせたトラは、宮殿に住む王様一家をうらやましく思っていました。ある日、宮殿の庭に干してあるトラのじゅうたんと入れ替わることを思いつきます。トラの作戦はうまくいくのでしょうか。トラの表情がユニークです。



**にいさんといもうと**  
 シャーロット・ゾロトウ 文  
 メアリ・チャルマース 絵  
 矢川澄子 訳  
 岩波書店  
**チャル**

兄さんは妹をからかっては、いつも泣かせてばかり。「おまえのキャンディもらったよ」「この人捨てるぞ」。本当は妹が気になって仕方ないのに、素直になれない兄さん。仲よし兄妹のほのぼのとした日常が、優しいタッチで描かれています。



**にじいろのさかな**  
 マーカス・フィスター 作  
 谷川俊太郎 訳  
 講談社  
**フィス**

きらきら輝く虹色のうろこが自慢のにじうお。でもその高慢な態度に、誰も近づかなくなってしまいました。寂しくなったにじうおは、賢いタコに相談するのですが……。にじうおが「幸せ」に気付くまでを描いた、うろこの虹色が美しい絵本です。



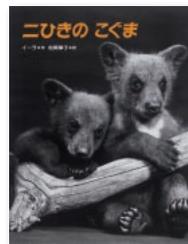
**どろんこハリー**  
 ジーン・ジョン ぶん  
 マーガレット・プロイ・グレアム え  
 わたなべしげお やく  
 福音館書店  
**クシア**

ハリーは、お風呂が大嫌いな黒いぶちのある白い犬です。ある日、家から逃げ出してどろんこになり、白いぶちのある黒い犬になってしまいました。あまりに汚く、家族にもハリーだと分かってもらえません。ハリーはブラシをくわえ、お風呂に飛びこみました。



**なついちいち**  
 はたこうしろう 作  
 偕成社  
**ハタ**

照りつける日差し、うるさいくらいのセミの声。牛小屋の前は全速力、お宮の階段も一気に登る。谷川を飛び越えて、ぼくはクワガタムシをつかまえる！夏の音、夏の色、夏の匂い……絵本の中に、どこか懐かしい夏の日があります。



**ニひきのこぐま**  
 イーラ 作  
 松岡享子 訳  
 こぐま社  
**イラ**

生まれてはじめての春、外の世界はこぐまたちにとって楽しいものでいっぱいです。遊びに夢中で、家から遠く離れたことにも気づきませんでした。高い木に登っても、家もお母さんも見えなくて……。こぐまたちのしぐさが何ともかわい、モノクロの写真絵本です。



**ねえ、どれがいい?**  
 ジョン・バーニンガム さく  
 まつかわまゆみ やく  
 評論社  
**ハニ**

「もしもだよ！ジャムだらけになると、どろんこになると、水をかけられるのと、どれがいい？」こんな問かけに、あなたなら何と答えますか？コミュニケーションが楽しい、参加型の絵本です。質問がどれもユニークで、空想の世界に引き込まれます。

＝ちょっとひとやすみ⑧＝

言葉の大切さが再認識され始めています。読み聞かせは、日本語を取得する力が伸び始める頃に、耳から言葉を身につけることができます。絵本には選りすぐりの言葉が並んでいます。たくさんの言葉を身につけた子どもは、自分の気持ちを的確な言葉で表現できる青少年に成長していきます。さらに、言葉と一緒に、お父さん・お母さんのあふれる愛情も子どもの心に届いています。



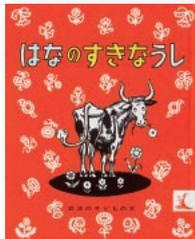
**はじめてのおつかい**  
 筒井頼子 さく  
 林明子 え  
 福音館書店  
**ハヤシ**

みいちゃんは5歳。お母さんに頼まれて、初めてひとりでおつかいに行きます。坂道でころんできました。お店の人になかなか気付いてももらえなかったり……。みいちゃんのドキドキする姿が、表情豊かに描かれています。



**はたらきものじよせつしゃけいていー**  
 ばーじにあーりー  
 ばーとん ぶんとえ  
 いいしものこ やく  
 福音館書店  
**ハトン**

けいていーは、赤くて立派なトラクター。夏はブルドーザーをつけて道を直し、冬は除雪機をつけて雪をかきのけます。ある日、大雪で誰も動けなくなりました。さあ、けいていーの出番です！町の地図をたどりながら、活躍するけいていーを応援しましょう。



**はなのすきなうし**  
 マンロー・リーフ  
 おはなし  
 ロバート・ローソン え  
 光吉夏弥 やく  
 岩波書店  
**ロソ**

昔、スペインの牧場にふえるじなんどという牛がいました。他の牛たちは闘牛になることを夢見て角でつつきあっていましたが、ふえるじなんどはひとり静かに花の匂いをかいでいるのが好きでした。そんなふえるじなんどが、闘牛場へ連れて行かれました。



**はなをくんくん**  
 ルース・クラウド ぶん  
 マーク・シーモント え  
 きじまはじめ やく  
 福音館書店  
**サイモ**

静かに雪が降り積もる森の中、動物たちはみんな眠っています。やがてみんな目を覚まし、鼻をくんくん、くんくん。そしてかけてく、かけてくその先には……。モノクロで描かれている雪景色の中に、春の始まりがかくれています。



**バルバルさん**  
 乾米里子 文  
 西村敏雄 絵  
 福音館書店  
**ニシム**

バルバルさんは、町はずれの小さなお店のとこやさん。毎日楽しく働いています。ある朝、バルバルさんが開店準備をしていると、ライオンが入ってきました。からまったたてがみを整え、喜んで帰ってもらってほっとしたのもつかの間、今度はワニがやって来ました。



**はろるとむらさきのくれよん**  
 クロケット・ジョンソン 作  
 岸田衿子 訳  
 文化出版局  
**シヨ**

はろるとは大きなむらさきのクレヨンといっしょに、散歩に出かけることにしました。クレヨンははろるとの思いのまま、次から次へと新しい世界を作り出していきます。はろるとが冒険に出て眠くなりベッドへ入るまでを、むらさきの線で綴ります。



**ハンダのびっくりプレゼント**  
 アイリーン・ブラウン 作  
 福本友美子 訳  
 光村教育図書  
**フラウ**

ハンダは、友だちのアケヨにあげるために、おいしそうなかだものを7つ、かごに入れ、頭に掛けて歩き出しました。「アケヨは、どのかだものが1番好きかな」そう考えて歩いていくと、サルがバナナをとってしまいました。でも、ハンダは気づきません。



**ピーターのとおいもち**  
 バーバラ・クーニー 絵  
 リー・キングマン 文  
 三木卓 訳  
 講談社  
**クニ**

森の中に住むピーターは、動物に囲まれて暮らしています。でも、一緒に遊ぶ男の子も女の子もいません。寂しがるピーターに、母さんは、5歳になったら村の学校で毎日友だちと遊べると言いました。5歳になった朝、ピーターは1人で家を出ました。



**ひみつのカレーライス**  
 井上荒野 作  
 田中清代 絵  
 アリス館  
**タナカ**

フミオは、カレーライスが大好き。今日も家族みんなで食べていると、かりっと音がして、フミオの口の中から小さな黒いつぶがひとつ出てきました。それは、世にも珍しいカレーの種。お父さんは、カレーの種を庭に植えると……。



**100まんびきのねこ**  
 ワンダ・ガアグ  
 ぶん え  
 いいしいももこ やく  
 福音館書店  
**カク**

寂しく暮らすおじいさんとおばあさん。「うちにねこが1匹いたらいいのに」と願うおばあさんのために、おじいさんは、ねこを探しに出かけました。やっとなこでいっぱい丘を見つけたのですが、どのねこもかわいくて1匹だけを選べません。



**ふしぎなたけのこ**  
 松野正子 さく  
 瀬川康男 え  
 福音館書店  
**セカワ**

今日は、たろのたんじょう日。ごちそう用のたけのこを掘っている時、たけのこに上着をかけると、急に伸びだしました。驚いたたろは、たけのこに飛びつきますが、ますます伸びていきます。母さんや父さん、村の人たちは、慌ててたろを助けにきました。



**ふしぎなナイフ**  
 中村牧江・林健造 さく  
 福田隆義 え  
 福音館書店  
**フクタ**

一見、どこにでもありそうな見た目のナイフ。ところが、ページをめくると、徐々に形を変えていきます。まがる・われる・とける・ほごける。ちぢんで、ふくらんで……。思いがけない大変身が、不思議な世界を広げてくれます。

＝ちょっとひとやすみ⑨＝

すぐれた絵本を選ぶ目安のひとつに、「成人式を迎えた絵本」というものがあります。出版されてから20年以上経つものという意味です。出版社は、売れない本はすぐに絶版にしています。そのような中で、長い間発刊され続けたということは売れた、つまり子どもたちに喜ばれている、選ばれ続けているということです。本の最後のページに奥付が表示されていますのでぜひ見てください。





### ベベべんべんとう

さいとうしのぶ  
教育画劇

サイト

お母さんは毎朝お弁当を4つ作る。でも、残念ながら僕は給食。僕がお弁当なのは遠足の時。それから運動会の時。お母さんも張り切って超豪華なんだよ!お弁当の絵に添えられた手書きの解説に、思わずクスッと笑ってしまう、お母さんのお弁当が大好きな気持ちがあふれる絵本です。



### ペレのあたらしいふく

エルサ・ベスコフ  
さく・え  
おのでらゆりこ  
やく  
福音館書店

ヘスコ

上着が短くなったペレは、自分で育てた子羊の毛を刈り取りました。その毛をおばあちゃんにすいて欲しいとお願いすると、その代わりに草取りをして欲しいと言われました。新しい服のために、ペレは次々と頼まれる仕事を、どれも一生懸命がんばります。



### まっくらネリノ

ヘルガ=ガルー さく  
やがわすみこ  
やく  
偕成社

カルラ

兄弟でひとりだけ真っ黒のネリノはいつも仲間はずれ。あるとき、兄さんたちがつかまってしまう。[ぼくならだじょうぶ、まっくらくるで、夜なら誰にも見つかりっこない]。兄さんたちを助けるために、ネリノは暗やみにもまぎれます。



### まゆとおに

富安陽子 文  
降矢なな 絵  
福音館書店

フリヤ

やまんばの娘のまゆは、ある日鬼に出会いました。鬼はまゆを食べようと唾をつき、煮炊きの準備を始めます。そんな事とは知らないまゆは鬼を手伝い……。互いの正体を知らないまゆと鬼の愉快なお話です。「やまんばのむすめまゆのおはなし」シリーズ1作目。



### ベンジーのもうふ

マイラ・ベリー・ブラウン 文  
ドロシー・マリノ 絵

まさきりこ 訳  
あすなろ書房

マリノ

赤ちゃんの時の毛布が大好きで、いつも持ち歩いている小さな男の子ベンジー。もう毛布はポロポロで、ぼろきれのよう。ベンジーは毛布を手放すことができるのでしょうか?小さな男の子の成長の1ページが綴られています。



### ぼく、だんごむし

得田之久 ぶん  
たかはしきよし  
え  
福音館書店

タカハ

ぼく、だんごむし。みんな、ぼくの事どれぐらい知ってる?林の中より街の中が住みやすいんだよ。なぜかって?それはね……。だんごむしの生態が、インパクトのある絵で表現されています。これを読んだら、外に出てだんごむしを探してみよう。



### みんなで! どうろこうじ

竹下文子 作  
鈴木まもる 絵  
偕成社

ススキ

パン屋さんの前の道は、古くてへこんだりひび割れたりして、車が通るとがたん、がたん。そこで、道路を直す工事することに決まりました。パワーショベルやダンプカーなど沢山の働く車が活躍!!道路修理の過程が本格的に描かれています。



### めっくらもっくら どおんどん

長谷川摂子 作  
ふりやなな 画  
福音館書店

フリヤ

遊ぶ友だちが見つからないかた。大声でめちゃくちゃの歌を歌うと、穴の中からかたを呼ぶ声がします。現れたゆかいなばけものたちと、楽しい時間が過ぎていきますが……。楽しい歌を、つい口ずさんでしまう絵本です。



### ぼちぼちいこか

マイク=セイラー さく  
ロバート=グロスマン え  
いまえよしと もやく  
偕成社

クロス

消防士になろうとしても、重すぎてはしごを壊してしまう。ピアニストになろうとしても、力がありすぎてピアノを壊してしまう。どうしたらいいのか思いつくまでちょっと一休み。「ま、ぼちぼちいこか」と、のんびりとしたカバくんのお話です。



### まあちゃんのながいかみ

たかどのほうこ さく  
福音館書店

タカト

髪の毛の短いおかつばのまあちゃんが髪を伸ばすと言いました。友達が「へえ、どれくらい?」と聞くと……。まあちゃんの想像の世界がどんどんと広がっていく、夢いっぱいユーモアあふれる絵本です。女の子なら一度は想像したことがあるかもしれませぬ。



### もりのおくのおちやかいへ

みやこしあきこ  
偕成社

ミヤコ

ケーキを持って行くのを忘れてしまったお父さんを追いかけて、おばあちゃんの家へと向かうキッコちゃん。ところが、追いかけていたのはお父さんではなく、くまでした。くまが入っていった家では、動物たちがお茶会をしていました。



### もりのなか

マリイ・ホール・エッツ  
ぶん・え  
まさきりこ  
やく  
福音館書店

エッツ

紙のぼうしをかぶり、ラッパを吹きながら森へ散歩に出かけたぼく。ライオンやぞう、くまなど、次々と動物がついてきました。みんなで楽しく遊ぶのですが、かくれんぼの途中で動物たちは消えてしまいます。



### やこうれっしゃ

西村繁男 さく  
福音館書店

ニシム

文章のないこの絵本の舞台は、上野発金沢行きの夜行列車。ホームで見送る人、車内でお弁当を食べている人、カバンを枕にしながら寝ている人。文章がないからこそ、描かれている一人一人の言葉が鮮明に聞こえてくるような絵本です。



### ゆうびんやさんのホネホネさん

にしむらあつこ  
さく・え  
福音館書店

ニシム

ゆうびんやさんのホネホネさんは、今日も自転車によって元気に配達に出かけます。柳の木の上や、土の中のアパート、池の中のおうちまで。みんな、手紙が届くのを楽しみにしています。そんなある日、ホネホネさんのところに手紙が届きました。



### ロージーのおさんぽ

パット=ハッチンス  
さく  
わたなべしげお やく  
偕成社

ハツチ

めんどりのロージーが、お散歩にお出かけです。すると、するがしこそうなきつねが、ロージーを狙って後から追いかけてきました。何も知らずにすたすた歩いて行くロージー。その後ろで、不運な失敗を繰り返すきつね。対照的な2匹がユーモラスに描かれています。



### ロンパーちゃんとうせん

酒井駒子  
白泉社

サカイ

ロンパーちゃんは街で風船をもらいました。風船と一緒にままごとをして遊ぶロンパーちゃん。でも「ビュウ!」と風が吹いて、風船は木の上へ。「一緒に寝る約束したの」。風船との約束を果たせないロンパーちゃんの、切ない気持ちが伝わってくる絵本です。



### ゆきのひ

エズラ=ジャック=  
キーツ ぶん・え  
きじまはじめ  
やく  
偕成社

キツ

冬のある朝、ピーターが目をさますと窓の外には雪が積もっていました。雪だるまを作ったりして一日中大はしゃぎしたピーターが見た夢とは……。色彩豊かな切り紙、貼り紙で描かれた絵本です。

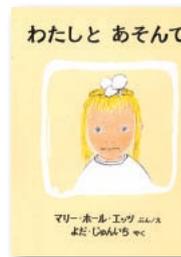


### よかったね ネットくん

シャーリップ さく  
やぎたよしこ やく  
偕成社

シヤリ

びっくりパーティーに招待され、飛行機でフロリダへ向かったネットくん。道中はピンチの連続ですが、ネットくんは運の良さで乗り越えていきます。いいこと、悪いことの繰り返しでテンポよく展開していき、ドキドキします。



### わたしとあそんで

マリー=ホール=エッツ  
ぶん・え  
よだじゅんいち やく  
福音館書店

エツツ

朝の野原に、小さな女の子が出かけていきました。「あそびましょ」と誘っても、動物たちはみんな逃げて行ってしまいます。ところがじっとしていると、今度は、みんな戻ってきて、女の子と遊んでくれるのでした。



### わにさんどきつ はいしゃさんどきつ

五味太郎  
偕成社

コミ

わにさんは遊んでいたけれど、虫歯を治さなければなりません。歯医者さんも遊んでいたけれど、治療しなくてはなりません。診療室で顔を合わせる二人。「どきつ、どうしよう、こわいなあ、でもがんばるぞ」。立場の違う二人から同じセリフが飛び出します。



### ラチとらいおん

マレーク=ペロニカ  
ぶん・え  
とくながやすもと  
やく  
福音館書店

マレク

ラチは弱虫な男の子。絵本を見て「こんなライオンが僕にもいたらいいのに」と空想するラチの前に、ある朝、小さなライオンが現れます。こんなちっぽけなライオンじゃ役に立たない、と言うラチにライオンは……。ライオンの力を借りて少しずつ成長していく様子を描いています。



### りんごのき

エドアルド=ベチシカ  
ぶん  
ヘナ=ズマトリー=コバ  
え  
うちだりさこ やく  
福音館書店

スマト

雪が積もったある日、マルチンは棒のようなりんごの木を見つけました。春も夏も、マルチンは友達とおしゃべりするようにりんごの木に話しかけます。そして秋になり、真っ赤なりんごの実がなりました。

## =ちょっとひとやすみ⑩=

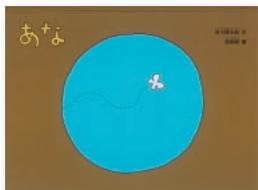
字を覚え始めたら、そこで読み聞かせは終了だと思いませんか。一人で絵本の字を追って、たどたどしく読んでいる子どもも見受けられます。きっと字を読むのに精一杯で、物語を楽しんではいないと思います。まだまだ親の手助けが必要です。絵本から幼年文学、そして児童文学に行き着くまで、読み聞かせを続けてください。子どもから「もう一人で読むから」という言葉が発せられるまで、どうぞ続けてください。



# 6歳から 楽しめる絵本



……長いお話を聞けるようになったら……  
＝おすすめの数冊＝



**あな**  
谷川俊太郎  
作  
和田誠 画  
福音館書店  
ワタ

日曜日、何もする事がなかったひろしは、あなを握り始めました。お母さんと妹たちに話しかけられても握り続けます。ひろしはあなに座り込んで空を見上げてみました。いつもより、青くて高い空が見えました。



**アンディとらいおん**  
ジェームズ・ドーハーティ  
ぶん・え  
むらおかはなこ やく  
福音館書店  
トハテ

アンディは図書館でライオンの本を借り、その晩夢中で読みました。彼の頭の中はライオンでいっぱい。そして次の日、彼はなんと本物のライオンに出会います。でもライオンの足には痛そうなたげが。アンディはとげを抜いてあげのですが……。



**アンナの赤いオーバー**  
ハリエット・ジーフェルト ぶん  
アニタ・ローベル え  
松川真弓 やく  
評論社  
ロヘル

「戦争がおわったら、新しいオーバーを買ってあげようね」と、お母さんが言いました。でも、戦争がおわっても、お店には品物がないし、うちにはお金がありません。お母さんはオーバーを作るために、家にある金時計と羊毛を交換することにしました。



**いたずらきかんしゃちゅうちゅう**  
バーbara・リー・バートン  
ぶん・え  
むらおかはなこ やく  
福音館書店  
ハトン

機関車ちゅうちゅうは、客車や貨車を引っぱって、駅から駅へ走っています。ある日、ひとりで行ったらもっと速く走れるだろうと思い、自分だけで走りだしました。踏切も信号も無視し、野を越え、山を越え……。ついに古い路線に入り込んでしまいました。



**いわしくん**  
菅原たくや  
文化出版局  
スカワ

日本の海で生まれたいわしくん。ある日、泳いでいると、仲間と一緒に大きな網で人間にかまってしまう。さて、いわしくんは、どうなってしまうのでしょうか。生き物から命をいただく大切さを知ることのできる一冊です。



**王さまライオンのケーキ**  
マシュー・マケリゴット  
作・絵  
野口絵美 訳  
徳間書店  
マケリ

王さまライオンは、毎年動物たちを招いて食事会を開きます。食事が終わり、デザートに大きなケーキが出てきました。王さまが、自分の分を取って隣に回すよう言うと、動物たちは半分ずつ取って回しました。半分の半分、倍の倍が楽しく分かる絵本です。



**おおきくなりすぎたくま**  
リンド・ワード 文・画  
渡辺茂男 訳  
ほるぶ出版  
ワト

家にくまの毛皮がないジョニー君は、自分でクマをしとめたいと思っていました。ある日、勇ましく森に入って行きましたが出会ったのは小さな子グマ。ジョニー君は子グマを家に連れて帰りました。子グマは家のものをたくさん食べて、どんどん成長して……。



**おかあさんが  
おかあさんになった日**  
長野ヒデ子 作  
童心社  
ナカノ

「赤ちゃん、こんにちは、おかあさんよ。あなたのおかげで、わたしはおかあさんになったのよ」入院してから、赤ちゃんがオギャーと生まれてくるまでの事が描かれています。おかあさんがおかあさんになった日、それはあなたの生まれた日なのです。



**おいしいのぼうけん**  
ふるたたるひ  
たばたせいいち  
さく  
童心社  
タハタ

さくら保育園には、怖いものが二つあります。ひとつはおしいれ、もうひとつはねずみばあさんです。ある日、ふざけていたあきらとさとしが、みずの先生に怒られ、おしいれに入れられてしまいました。暗闇の中で二人が見たものは何だったのでしょうか。



**おしゃべりな  
たまごやき**  
寺村輝夫 作  
長新太 画  
福音館書店  
チヨウ

「今日のおかずはめだまやき」のその日、王さまは、お城のわきのにわとり小屋を見つけます。にわとりを助けようと戸を開けてしまう王さま。にわとりが飛び出して、お城は大騒ぎ！みんなが犯人探しを始めます。



### おにたのぼうし

あまんきみこ 文  
いわさきちひろ 絵  
ポプラ社

イワサ

小さなくろおにの子のおにたは、節分の夜につのかくしの帽子を被り、住んでいた物置小屋から出て行きました。豆のおいもせず、ひいらぎもない家を見つけて入り込むと……。

「おにも、いろいろあるのにな」というおにたの切ない言葉が心に染みます。



### かぜはどこへいくの

シャーロット=ゾロウ  
さく  
ハワード=ノツツ え  
まつおかきょうこ やく  
偕成社

ノツツ

屋が終わったら、お日様はどこへ行くのでしょう。道の先はどうなっているのかな。男の子の疑問に「おしまいになってしまうものは、なんにもないの」と、お母さんは答えます。母と子の寝る前の穏やかなやりとりが、繊細な絵とともに綴られています。



### かたあしだちょうのエルフ

おのきがく 文・絵  
ポプラ社

オノキ

若くて強くてすばらしく大きなだちょうのエルフは、くさはらの人気者。ある日、みんなを守るためにライオンと戦い、大切な片足を失います。一本足になってもなお、最後まで仲間を守った優しいエルフの物語が、砂色の背景と迫力ある木版画で描かれています。



### かたたんたん

やすいすえこ  
作  
福田岩緒 絵  
ひさかたチャイルド

フクタ

電車に乗り合わせた知らない人同士が、ふとしたきっかけで心を触れ合せていきます。お客さんの心の動きをモノトーンからカラーに変えて表現し、電車を降りる頃には全員が明るい色に彩られ、みんな笑顔に。人の表情がユニークです。



### かもさんおとおり

ロバート・マックスキー  
ぶんとえ  
わたなべしげお やく  
福音館書店

マツク

かものマラードさんとその奥さんは、巣を作る場所をチャールズ川に見つけます。ある日、奥さんと生まれた8羽の子どもたちは公園まで出かけることになり……。いきいきと描かれたかもの家族と、一家を見守るおまわりさんの優しさが心温まる作品です。



### からすたろう

やしまたろう 文・絵  
偕成社

ヤシマ

学校で仲間外れにされていた少年がいました。6年生になったとき、いそべ先生が受け持ちになりました。学芸会で、先生が少年に「からすの鳴きまね」をさせると……。熱心な先生によって、孤独な少年が村の人々と打ち解けていく様子に引き込まれます。



### 木

佐藤忠良 画  
木島始 文  
福音館書店

サトウ

大地をつかみ水を吸い上げる根っこ、空に伸びる枝、木のこぶこぶなど、長い間立ち続けるたくましい老木を写実的に描いています。迫力あるデッサンと、木に語りかけるような優しい言葉で綴られ、大きく広がるページも見事です。



### きつねのホイティ

シビル・ウェッタシンハ  
さく  
まつおかきょうこ  
やく  
福音館書店

ウエタ

おなかを空かせたきつねのホイティは、人間の変装をして村を訪れます。きつねだと知りながら、ごちそうでもてなしてあげた三人のおかみさんたち。ところがある日、ホイティが森で歌っていた歌を聞いて……。だましあいが楽しいスリランカのお話。



### けんかのきもち

柴田愛子 文  
伊藤秀男 絵  
ポプラ社

イトウ

一番の友達のこうたと、すっごいけんかをしたばく。どつかれてしりもちをつき、泣きながら走って家に帰りました。けれど、お母さんにくっついて泣いても、こうたが謝りに来ても、「けんかのきもち」は終わりません。二人は仲直りできるのでしょうか。



### ごきげんならいおん

ルイズ・ファティオ ぶん  
ロジャー・デュボアザン え  
むらおかはなこ やく  
福音館書店

テユホ

街の中の動物園で暮らすごきげんなライオンは、街の人気者。ある日、小屋の扉が開いていたので、自分から街の人たちに会いに行きますが、大騒ぎされてしまいます。でも飼育係の息子フランソワだけは、いつもと同じようにあいさつしてくれました。



### こぎつねコンとこだめきボン

松野正子 文  
二俣英五郎 画  
童心社

フタマ

歌の得意なつばき山のコンと、木登り上手なすぎの木山のボン。初めてできた友達なのに、両親たちは一緒に遊ぶことを許してくれませんが……。もし、言いつけを破ったら、おしりを百回叩くと言うのです。コンとボン、きつねとためきは仲良くなるのでしょうか。



### こんとあき

林明子 さく  
福音館書店

ハヤシ

きつねのぬいぐるみのこんは、あきが赤ちゃんの時からいつも一緒。ある日、こんの腕がほころびてしまいました。さきゅうまちのおばあちゃんに直してもらうため、こんとあきは汽車に乗って出発。さあ、ハラハラドキドキの冒険の始まりです！



### じごくのそべえ

桂米朝・上方落語・地獄八景より  
たじまゆきひこ 作  
童心社

タシマ

地獄に落ちた軽業師のそべえ、歯抜き師のしかい、医者の子ちくあと山伏のふっかいが、おそろしい鬼やえんま大王を相手に大暴れ!上方落語「地獄八景亡者戯(じごくぼっけいもうじゃのたわむれ)」を元にした、ユーモアあふれるお話です。



### じゅげむ

川端誠  
クレヨンハウス

カワハ

生まれた男の子にめでたい名前をつけようとお寺の和尚さんに相談したら、選びきれずにとてつもない名前になってしまいました。有名な落語「じゅげむ」の絵本。「じゅげむじゅげむ、ごころのすりきれ、かいじやうすいぎよ……」あなたは何を言えますか?



### しろいうさぎとくろいうさぎ

ガース・ウィリアムズ  
ぶん・え  
まつおかきょうこ やく  
福音館書店

ウイリ

森に住むしろいうさぎとくろいうさぎは、毎日楽しく遊んでいました。ある日、くろいうさぎがとても悲しそうなる顔をするので、しろいうさぎは「どうしたの?」と聞きました。くろいうさぎの考え事とは?幸せな気持ちになれる、仲良いうさぎのお話です。



### ジローとぼく

大島妙子  
偕成社

オオシ

ぼくは子犬の頃からいつもジローと一緒に。だんだん大きくなって来たので、ジローは犬小屋で生活することになりました。その夜一晩だけは、犬小屋と一緒に寝てあげました。ところが朝起きてみると、ジローがぼくで、ぼくがジローに入れ替わっていたのです。



### しんとしずかな、ほん

デボラ・アンダーウッド 文  
レナータ・リウスカ 絵  
江國香織 訳  
光村教育図書

リウス

「かくれんぼのしーん」「はつゆきのしずかさ」といった、日常のいろいろな「しずかさ」に、ドキッとしたり、しみりしたり。思い当たる場面思わず笑みがこぼれるやさしい絵本です。



### じんべえざめ

新宮晋  
文化出版局

シンク

この地球上で生きている一番大きな魚、じんべえざめ。光あふれる青い海の中、他の魚たちと一緒にゆうゆうと泳ぐじんべえざめの姿を、様々な角度から描いています。英語が併記されています。



### ずーつとずつと だいすきだよ

ハンス・ウィルヘルム  
えとぶん  
久山太市 やく  
評論社

ウイル

ぼくと一緒に大きくなった犬のエルフィー。でも、いつしかエルフィーは年をとって、寝ていることが多くなり、散歩を嫌がるようになった。それでもぼくは、必ず寝る前に言ってあげた。「エルフィー、ずーつと、だいすきだよ」と。



### せかいいちうつくしいぼくの村

小林豊  
ポプラ社

コハヤ

バグマン村に住むヤモは、くだものを売るためにロバのポンパーと一緒に、初めてまちへ行く事になりました。戦争に行っている兄さんの代わりに、父さんの手伝いをするのです。アフガニスタンのまちの様子や、人々の暮らしが分かる絵本です。



### せかいのひとびと

ピーター・スピーア  
えとぶん  
松川真弓 やく  
評論社

スピア

地球には、どんな人たちが暮らしているのでしょうか?たくさんの方がいるけれど、同じ人はいません。世界には様々な国があり、それぞれに言語、風習、文化などの違いがあることを伝えています。



### ぞうのパバール

ジャン・ブリュノフ  
さく  
やがわすみこ  
やく  
評論社

フリユ

狩人に追われ、森から逃げ出したパバール。初めてやってきた町の様子にびっくり!象の気持ちならなんでもわかるおばあさんと出会い、一緒に暮らし始めます。やがて森に帰ることになり……。かっこいいパバールの冒険物語です。



### ソメコとオニ

斎藤隆介 作  
滝平二郎 絵  
岩崎書店

タキタ

5才のソメコは遊ぶことが大好き。でも大人達が一緒に遊んでくれないので退屈です。ところがある日、ちょっと怖い顔だけど、いくらでも遊んでくれるおじさんが現れて……。さて、ソメコとおじさんは楽しく遊ぶことができたのでしょうか?



### ちいさいおうち

ぼーじにありーぼーとん  
ぶんとうえ  
いしいももこ やく  
岩波書店

ハトン

むかしむかし、ずっと田舎の静かなところにちいさいおうちがありました。おうちの周りには、ひなぎくやりんごの木が植えてあり、四季折々の景色がありました。時は流れ、周りの景色が変わっても、ちいさいおうちはそこにじっとすわっていました。



### 月夜のみみずく

ヨーレン 詩  
くどうなおこ 訳  
ショーエンハール 絵  
偕成社

シヨエ

静かな冬の夜更け。父さんとわたしは、みみずく探しに出かけました。雪を踏みしめ、森に向かって歩きます。「みみずくに会いに行くときは、静かにしなくちゃいけないよ」って、父さんが教えてくれたから、わたしは黙ってついて行きました。



### 手ぶくろを買いに

新美南吉 作  
黒井健 絵  
偕成社

クロイ

冬が来て、子ぎつねに手袋が必要になりました。手袋は人間の店にあります。母ぎつねは、子ぎつねの片手を人間の手に変え、必ず人間の方の手を出して買い物をするように言い聞かせます。しかし、子ぎつねは間違えて、店でぎつねの手を出してしまいました。



### としょかんライオン

ミシェル・ヌードセン 著  
さく  
ケビン・HOOKS え  
福本友美子 やく  
岩崎書店

ホクス

ある日、図書館にライオンがやって来ました。お行儀のよいやさしいライオンはみんなの人気者です。ところがある時、図書館の決まりを破ってしまって……。心温まる絵本です。



### となりのせきのますだくん

武田美穂 作・絵  
ポプラ社

タケタ

みほちゃんは、今日学校へ行きたくありません。いつもいじわるをしてくる、となりの席のますだくんとけんかをしたからです。小学校1年生の心情を、みほちゃんの見線で綴っています。ますだくん目線の続編『ますだくんのーねんせいにつき』もあります。



### とべバッタ

田島征三 著  
偕成社

タシマ

小さな茂みの中で、びくびくしながら暮らしていたバッタ。ある日、そんな生き方が嫌になり、大きな石の上でゆうゆうと日向ぼっこをすることにします。ヘビやカマキリが襲って来た時、ついに外の世界へ飛び出しました。力強いバッタの姿が印象に残ります。



### どろんここぶた

アーノルド・ローベル 作  
岸田衿子 訳  
文化出版局

ロヘル

お百姓さんの家のこぶたは、やわらかいどろんこの中に座ったまま沈むことが大好き。ところがある日、おばさんにどろんこを掃除されてしまいます。怒ったこぶたは、どろんこ探しの旅へ出かけます。愛らしいこぶたの冒険に、思わず笑いがこみ上げます。



### どんなかんじかなあ

中山千夏 ぶん  
和田誠 え  
自由国民社

ワタ

友だちのまりちゃんは、目が見えない。見えないって、どんな感じかな？ひろくんは考えて、しばらく目をつぶってみることにしました。目が見えないと……。何てたくさんのお音が聞こえるんだろう。



### どんなにきみがすきだかあててごらん

サム・マクブラットニイ ぶん  
アニタ・ジェラム え  
小川仁央 やく  
評論社

シエラ

「すき」の気持ちは目に見えません。でもどうしても伝えたくて、チビウサギとデカウサギは、腕を伸ばし、背伸びをし、飛び上がって「ごーんなにすき」と伝え合います。2匹の仲良しウサギのかけ合いが、優しく心温まる絵本。



### ないしょのおともだち

ビリードフリオ 文  
バーバラ・マクリントック 絵  
福本友美子 訳  
ほるぷ出版

マクリ

同じ家に住む、人間の女の子とネズミの女の子。ある日、お互いの存在に気づいた2人は、友だちになりました。それぞれの家族には内緒です。やがて2人は成長し、家を出て、お母さんになって……。温かみのある絵とお話を楽しんでください。



### ないたあかおに

はまだひろすけ ぶん  
いけだたつお え  
偕成社

イケタ

赤おには、人間たちと仲良く暮らしていきたいと思っていました。友だちの青おには、その願いを叶えてあげるために悪役を演じ、赤おにの前から姿を消してしまいます。おに同士の高い思いやりが、心に響く絵本です。



### 中をそうぞうしてみよ

佐藤雅彦＋ユーフラテス 著  
福音館書店

ナカオ

イスには、何本くぎが使われているでしょう？針山の中はどうなっているのかな？ブタの貯金箱、造花、包丁などなど、中を想像してみよう！ページをめくってX線写真で答え合わせをしてみましょ。いくつ分かるかな。



### にぐるまひいて

ドナルド・ホール ぶん  
バーバラ・クーニー え  
もきかずこ やく  
ほるぷ出版

クニ

19世紀アメリカの生活を、一年を通して描いています。動物を育て、野菜を作り、羊の毛でショールを作り出す。秋には父さんが市場に売りに行き、その代金で家族の生活に必要な物を買います。こうして季節は巡り、穏やかな生活が続いていきます。



### パパのしごとはわるものです

板橋雅弘 作  
吉田尚令 絵  
岩崎書店

ヨシタ

学校の宿題でお父さんの仕事を調べると、何と、パパはマスクをかぶった悪役のレスラーでした。正義の味方が良かったのに、と泣くほどパパを抱っこして……。



### はるがきた

ジーン・ジョン 文  
マーガレット・ブロイ・グレアム 絵  
こみやゆう 訳  
主婦の友社

クレア

なかなかやっこない春。男の子が良いことを思い付きました。春を待っていないで、ぼくたちで町を春にしよう!町の人々を巻き込んで、ペンキとはけとはしごで町中に春の絵を描いて回りました。ところがその夜、雨が降り出してしまって……。



### ピーターラビットのおはなし

ビートルクス・ポター さく・え  
いしいももこ やく  
福音館書店

ホタ

大きなもみの木の下に、お母さんと4匹の子うさぎが住んでいました。ある朝、いたずら子うさぎのピーターは、行ってはいけないと言われていたマグレガーさんの畑に忍び込み、見つかってしまったから、さあ大変!ピーターとマグレガーさんの追いかっこの始まりです。

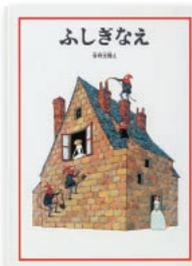


### 100万回生きたねこ

佐野洋子 作・絵  
講談社

サノ

100万回も死んで、100万回も生きたねこは、だれよりも自分が好きでした。ある日、いつまでも一緒に生きていたいと思う白いねこに出会い、ねこは初めて自分よりも大事なものがあることを知りました。



### ふしぎなえ

安野光雅 え  
福音館書店

アンノ

とんがり帽子をかぶった人たちにぎわう家・道・迷路……。ところがよく見ると、あれあれ、どこか変。いったいどこが変なのでしょう。見れば見るほど不思議な気分になれる、ふしぎな絵。じっくり味わって見てみてください。



### 富士山にのぼる

石川直樹  
教育画劇

イシカ

何度登っても新しい発見があるという富士山の魅力とは何でしょう。探検家石川直樹が美しい写真で子どもたちへ紹介する、初めての写真絵本。普段遠くから見慣れた富士山も、登ってみなければわからないことがいっぱいです。



### ふたりはともだち

アーノルド・ローベル 作  
三木卓 訳  
文化出版局

ロヘル

友だちのがまくんが、今まで一度も手紙をもらったことがないと知ったかえるくん。急いで家に帰り、がまくんへの手紙を書き、かたむりに配達を頼みました。ふたりは幸せな気持ちで届くのを待ちます。「おてがみ」他4編を収録。



### ぼくのかえりみち

ひがしちから  
BL出版

ヒカシ

そらくんは、学校から家まで白線の上を歩いて帰ることにしました。とんぼに誘われても、ザリガニに誘われても、「また今度」。あともう少しで家に着くという時、そらくんに最大の試練が訪れます。家に帰るために、そらくんが取った行動とは。



### ぼくだけのこと

森絵都 作  
スギヤマカナコ 絵  
偕成社

スキヤ

兄弟の中でえくぼがあるのは、ちょっとうれしいぼくだけのこと。蚊にさされやすいのは、ちょっと困ったぼくだけのこと。仲間の中で逆立ち歩きができるのは、ちょっと得意なぼくだけのこと……。「ぼく」は、日本中でひとり。世界中でもただひとり。



### よあけ

ユリー・シュルヴィッツ  
作・画  
瀬田貞二 訳  
福音館書店

シユル

物音ひとつしない真夜中。次第に夜明けが近づいてきます。そんな静かな夜明けの様子が、淡々と語られています。ページをめくるたびに景色が明るさを増していき、青の淡い色調の絵は、まるで実際の夜明けを見ているようです。



### ライオンとねずみ

[インソップものがたり]  
ジェリー・ピンクニー 作  
さくまゆみこ 訳  
光村教育図書

ヒンク

昼寝をしていたライオンにのぼってしまったネズミを、ライオンは食べずに逃がしてあげました。ある日、人間の仕掛けた網にかかってしまい、絶体絶命のライオンのところにネズミが現れて……。弱いものでも強いものを助けることができるという絵本です。



### ロバのシルベスターとまほうの小石

ウィリアム・スタグ さく  
せたていじ やく  
評論社

スタイ

ある雨の日、ロバのシルベスターは願いを叶えてくれる魔法の小石を見つけました。そこへライオンが現れて、驚いたシルベスターはうっかり岩になりたいとお願いしてしまい……。シルベスターはロバの姿に戻ってお父さんお母さんと再会できるでしょうか。

## かがくに触れる絵本 =おすすめの19冊=



### 田んぼの一年

向田智也 / 小学館

ムカイ

田んぼの一年間を、稲の成長、時期ごとの仕事、田んぼで見るができる様々な動植物などとともに、見開きでひと月ごと紹介しています。一年を通して同じ視点から田んぼを描いているので、季節の移り変わりがよくわかります。田んぼの文化に触れる絵本。

### かさぶたくん

やぎゆうげんいちろう さく / 福音館書店

ヤキユ

### 木の实ともだち

福岡達英 構成 下田智美 絵と文 / 偕成社

シモタ

### さくら

長谷川摂子 文 矢間芳子 絵・構成 / 福音館書店

ヤサマ

### ざっそう

甲斐信枝 ぶん・え / 福音館書店

カイ

### ざりがに

吉崎正巳 ぶん・え 須甲鉄也 監修 / 福音館書店

ヨシサ

### しずくのぼうけん

マリア・テルリコフスカ さく ポダン・ブテコ え うちだりさこ やく / 福音館書店

フテン

### しっぼのはたらき

川田健 ぶん 敷内正幸 え 今泉吉典 監修 / 福音館書店

ヤフウ

### たんぼぼ

平山和子 ぶん・え 北村四郎 監修 / 福音館書店

ヒラヤ

### ちきゅうがウンチだらけにならないわけ

松岡たつひで / 福音館書店

マツオ

### はたらくじどうしゃ 1~4

山本忠敬 さく・え / 福音館書店

ヤマモ

### はははのはなし

加古里子 ぶん・え / 福音館書店

カコ

### びっくりまつぼっくり

多田多恵子 ぶん 堀川理万子 え / 福音館書店

ホリカ

### ふゆめがっしょうだん

富成忠夫、茂木透 写真 長新太 文 / 福音館書店

トミナ

### ほくのばんわたしのばん

神沢利子 ぶん 林明子 え / 福音館書店

ハヤシ

### ホネホネ絵本

スティーブ・ジェンキンス 作 千葉茂樹 訳 / あすなろ書房

シエン

### みんなうんち

五味太郎 さく / 福音館書店

コミ

### よもぎだんご

さとうわきこ さく / 福音館書店

サトウ

### わたし

谷川俊太郎 ぶん 長新太 え / 福音館書店

チヨウ

## ことばで遊ぶ絵本

## =おすすめの7冊=



### わらべうたであそびましょ!

さいとうしのぶ 編・絵 / のら書店

サイト

たあちゃんが鏡で遊んでいると、鏡の中から、ねこやだるまなど、愉快な仲間が飛び出してきました。「あがりめさがりめ」や「かごめかごめ」をはじめ、簡単ですぐにできるわらべうたを、可愛らしい絵とともに紹介しています。見返しに楽譜も載っています。

### あいうえおの本

安野光雅 / 福音館書店

アンノ

### あっちゃんあがつく

みねよう げんあん さいとうしのぶ さく / リーブル

サイト

### いっしょにうたって!

ましませつこ 絵 / こくま社

マシマ

### いっばいうたって!

ましませつこ 絵 / こくま社

マシマ

### ウラパン・オコサ

谷川晃一 / 童心社

タニカ

### ABCの本

安野光雅 / 福音館書店

アンノ

## グリム童話の絵本

## =おすすめの4冊=



### 赤ずきん

バーナディット・ワッツ 絵 生野幸吉 訳 / 岩波書店

ウオツ

赤いピロードのずきんがよく似合う女の子、赤ずきん。ある日、森へおばあさんのお見舞いに出掛けたところ、オオカミと出会いました。オオカミは赤ずきんをだまそうと先回りしておばあさんの家へ……。ヨーロッパの景色が色鮮やかに描かれています。

### おおかみと七ひきのこやぎ

フェリクス・ホフマン え せたていじ やく / 福音館書店

ホフマ

### ねむりひめ

フェリクス・ホフマン え せたていじ やく / 福音館書店

ホフマ

### ブレーメンのおんがくたい

ハンス・フィッシャー え せたていじ やく / 福音館書店

フイツ

## 日本のむかしばなし絵本 =おすすめの本 12冊=



### うらしまたろう

時田史郎 再話 秋野不矩 画 / 福音館書店

アキノ

浜辺でいじめられていた、五色の亀を助けたうらしまたろう。実は竜王の娘だったその亀に、海の中の竜宮へ招待されます。竜宮で楽しく暮らしましたが、里が恋しくなったたろうは、決して開けてはいけないと言われた玉手箱を持って、地上へ帰ります。

### かさじぞう

瀬田貞二 再話 赤羽末吉 画 / 福音館書店

アカハ

大晦日、じいさんはあみがさを売りに出かけますが、見向きもされません。帰る途中、じぞうさまが寒そうだったので、売り物と自分のかさをかぶせてあげました。すると正月の朝、そり引きの音が聞こえ……。貧しくも心優しいじいさんとばあさんのおはなし。



### へっこきあねさがよめにきて

大川悦生 文 太田大八 絵 / ポプラ社

オオタ

あにさのお嫁さんは、へっこきあねさ。「ぼんぼんぼがーん」と屁をしたら、ばばの体が庭の向こうのだいこん畑まで飛んで行ってしまいました。こんな嫁はもらえないと、あねさを里まで送って行きますが……。お腹を抱えて笑ってしまう昔話です。

### いっすんぼうし

いしいもこ ぶん あきのふく え / 福音館書店

アキノ

### かちかちやま

おざわとしお 再話 赤羽末吉 画 / 福音館書店

アカハ

### かにむかし

木下順二 文 清水崑 絵 / 岩波書店

シミス

### だいくとおにろく

松居直 再話 赤羽末吉 画 / 福音館書店

アカハ

### ちからたろう

いまえよしとも ぶん たしませいぞう え / ポプラ社

タシマ

### ふるやのもり

瀬田貞二 再話 田島征三 画 / 福音館書店

タシマ

### ももたろう

松居直 文 赤羽末吉 画 / 福音館書店

アカハ

### やまなしもぎ

平野直 再話 太田大八 画 / 福音館書店

オオタ

### やまなばのにしき

まつたにみよこ ぶん せがわやすお え / ポプラ社

セカワ

## 世界のむかしばなし絵本 =おすすめの本 11冊=



### 王さまと九人のきょうだい

中国民話 君島久子 訳 赤羽末吉 絵 / 岩波書店

アカハ

子どものいない夫婦のもとに、九人の子どもが生まれました。「ちからもち」に「くいしんぼう」「はらいっぱい」……。顔も体つきもそっくりな兄弟は、王様の出す命令に代わる代わる従い、それぞれの得意分野で王様に対抗します。

### 三びきのこぶた

イギリス民話 瀬田貞二 やく 山田三郎 え / 福音館書店

ヤマタ

三匹のこぶたが家建てました。わらの家、木の枝の家を建てたこぶたは、おおかみに家を吹き飛ばされ、食べられてしまいます。三匹目のこぶたはレンガで家建てたので、おおかみはこぶたを食べられません。くやしがるおおかみは、あの手この手でこぶたを誘います。



### てぶくろ

ウクライナ民話 エウゲーニー・M・ラチョフ え  
うちだりさこ やく / 福音館書店

ラチヨ

雪降る森に、おじいさんがてぶくろを落としていきました。くいしんぼねずみがやってきて、てぶくろの中に住むことにしました。次から次へと動物たちがやって来て、てぶくろの中に入ろうとしますが……。動物たちの名前も楽しい絵本です。

### うさぎのみみはなぜながい

メキシコ民話 北川民次 ぶんとえ / 福音館書店

キタカ

### おおきなかぶ

ロシア民話 A・トルストイ 再話 内田莉沙子 訳 佐藤忠良 画 / 福音館書店

サトウ

### おだんごぼん

ロシア民話 せたていじ やく わきたかず え / 福音館書店

ワキタ

### ガラスめだまときんのつのヤギ

ヘラルーシ民話 田中かな子 訳 ススキコジ 画 / 福音館書店

ススキ

### 3びきのくま

イギリス昔話 トルストイ ぶん バスネツォフ え おがさわらとよき やく / 福音館書店

ワスネ

### 三びきのやぎのからがらどん

北欧民話 マーシャ・ブラウン え せたていじ やく / 福音館書店

フラウ

### スーホの白い馬

モンゴル民話 大塚勇三 再話 赤羽末吉 画 / 福音館書店

アカハ

### マーシャとくま

ロシア民話 E・ラチョフ え M・プラトフ さいゆ うちだりさこ やく / 福音館書店

ラチヨ

<b>あ</b>		おならうた	13
あいうえおの本	41	おにたのぼうし	32
あおくとときいろちゃん	4	おふるだいすき	13
赤ずきん	41	おへそのあな	14
あかちゃんがやってくる	11	おりこうなアニカ	14
あくび	4		
あっちゃんあがつく	41	<b>か</b>	
あな	30	かいじゅうたちのいるところ	14
雨、あめ	11	かさ	14
ありこのおつかい	11	かさじぞう	42
ありとすいか	4	かさぶたくん	40
アンガスとあひる	4	かぜはどこへいくの	32
アンディとらいおん	30	かたあしだちょうのエルフ	32
アンナの赤いオーバー	30	がたごとがたごと	15
イエペはぼうしがだいすき	11	がたたんたん	32
いたずらきかんしゃちゅうちゅう	30	かちかちやま	42
いたずらこねこ	5	かにむかし	42
いちごばたけのちいさなおばあさん	12	かばくん	5
いっしょにうたって!	41	かもさんおとおり	32
いっすんぼうし	42	からすたろう	32
いっばいうたって!	41	からすのパンやさん	15
いわしくん	31	ガラスめだまときんのつものヤギ	43
うさぎのみみはなぜながい	43	ガンピーさんのふなあそび	15
うみへいくピン・ボン・パス	5	木	33
うらしまたろう	42	きつねのホイティ	33
ウラパン・オコサ	41	木の実ともだち	40
うんちしたのはだれよ!	12	木はいいなあ	15
うんちっち	12	キャベツくん	15
エイモスさんがかぜをひくと	12	きょうのごはん	15
ABCの本	41	きょうはみんなでクマがりだ	16
王さまと九人のきょうだい	43	きょだいなきょだいな	16
王さまライオンのケーキ	31	くさはむ	5
おおかみと七ひきのこやぎ	41	くまのコールテンくん	16
おおかみのおいしゃさん	13	くものすおやぶんとりものちょう	16
おおきくなりすぎたくま	31	ぐりとぐら	17
おおきくなるっていうことは	13	ぐるんぱのようちえん	17
おおきなかぶ	43	くんちゃんのだいいょうこう	17
おかあさんがおかあさんになった日	31	けんかのきもち	33
おさとぼうしうり	13	げんきなマドレーヌ	17
おいしいのぼうけん	31	ごきげんならいおん	33
おしゃべりなたまごやき	31	ごぎつねコンとこだぬきボン	33
おたすけこびと	5	こすずめのぼうけん	17
おだんごぼん	43	こねこのびっち	17
おちやのじかんにきたとら	5	これはなみだ?	18
お月さまってどんなあじ?	13	こんとあき	33

<b>さ</b>		ちきゅうがウンチだらけにならないわけ	40
さくら	40	ちびゴリラのちびちび	6
ざっそう	40	つきのぼうや	20
ざりがに	40	月夜のみみすく	36
3びきのくま	43	ティッチ	7
三びきのこぶた	43	でこちゃん	20
三びきのやぎのらがらどん	43	てじな	7
ジオジオのかんむり	18	でっこりぼっこり	20
じごくのそうべえ	34	てぶくろ	43
しずくのぼうけん	40	てぶくろがいっぱい	21
しっぽのはたらき	40	手ぶくろを買いに	36
じゃぐちをあけると	6	でんしゃにのったよ	7
11びきのねこ	18	でんしゃにのって	7
14ひきのひっこし	18	ドアがあいて…	21
じゅげむ	34	どうぞのいす	21
しょうぼうじどうしゃじぶた	18	どうぶつびょういんおおいそがし	21
しりとりのだいすきなおうさま	18	としょかんねすみ	22
しろいうさぎとくろいうさぎ	34	としょかんライオン	36
ジローとぼく	34	となりのせきのますだくん	36
しんせつなともだち	19	とべバッタ	36
しんとしずかな、ほん	34	トラのじゅうたんになりたかったトラ	22
じんべえざめ	34	とりかえっこ	8
ずーっとずっとだいすきだよ	35	どろんここぶた	36
スーホの白い馬	43	どろんこハリー	22
すてきな三にんぐみ	19	とんとんとめてくださいな	8
せかいいちうつくしいぼくの村	35	どんななかじかなあ	37
せかいのひとびと	35	どんなにきみがすきだかあててごらん	37
せんたくかあちゃん	19		
ぞうくんのさんぽ	6	<b>な</b>	
ぞうのパパール	35	ないしょのおともだち	37
ソメコとオニ	35	ないたあかおに	37
そらいろのたね	19	中をそうぞうしてみよ	37
そらまめくんのベッド	20	なつのいちにち	22
		なにをたべてきたの?	8
<b>た</b>		にいさんといもうと	23
だいくとおにろく	42	にぐるまひいて	37
たぬきのおつきみ	20	にじいろのさかな	23
だるまちゃんとうさぎちゃん	20	二ひきのこぐま	23
田んぼの一年	40	ねえ、どれがいい?	23
たんぼぼ	40	ねずみくんのチョコキ	8
ちいさいおうち	35	ねむりひめ	41
ちいさなちいさなおんなのこ	6	のろまなローラー	9
ちいさなねこ	6		
ちいさなヒッポ	6	<b>は</b>	
ちからたろう	42	はじめてのおつかい	23

はたらきもののじよせつしゃけいていー	23
はたらくじどうしゃ 1~4	40
はなのすきなうし	24
はなをくんくん	24
パパのしごとはわるものです	38
はははのはなし	40
はらぺこあおむし	9
はるがきた	38
バルバルさん	24
はるごとむらさきのくれよん	24
ハンダのびっくりプレゼント	24
パンやのくまさん	9
ピーターのいす	9
ピーターのおいみち	24
ピーターラビットのおはなし	38
びっくりまつぼっくり	40
ひみつのカレーライス	25
100万回生きたねこ	38
100まんびきのねこ	25
ふしぎなえ	38
ふしぎなたけのこ	25
ふしぎなナイフ	25
富士山にのぼる	38
ふたりはともだち	39
ふゆめがしょうだん	40
ふるやのもり	42
プレーメンのおんがくたい	41
へっこきあねさがよめにきて	42
ベベべんべんとう	26
ベレのあたらしいふく	26
ベンジーのもうふ	26
ぼくだけのこと	39
ぼく、だんごむし	26
ぼくにげちゃうよ	9
ぼくのかえりみち	39
ぼくのぼんわたしのぼん	40
ぼくはブルドーザー!	9
ぼちぼちいこか	26
ホネホネ絵本	40

## ま

マーシャとくま	43
まあちゃんのながいかみ	26
まっくらネリノ	27
まゆとおに	27

まるまるまるのほん	10
みんなうんち	40
みんなで! どうろこうじ	27
めっきらもっきらどおんどん	27
もこもここ	10
ももたろう	42
もりのおくのおちやかいいへ	27
もりのなか	27

## や

やこうれっしゃ	28
やまなしもぎ	42
やまんばのにしき	42
ゆうちゃんのみきさーしゃ	10
ゆうびんやさんのホネホネさん	28
ゆきのひ	28
よあけ	39
よかったねネッドくん	28
よもぎだんご	40

## ら

ライオンとねずみ	39
ラチとらいおん	28
りんごのき	28
ロージーのおさんぼ	29
ロバのシルベスターとまほうの小石	39
ロンパーちゃんとふうせん	29

## わ

わたし	40
わたしとあそんで	29
わたしのワンピース	10
わにさんどきっはいしゃさんどきっ	29
わにわにのおふる	10
わらべうたであそびましょ!	41

## あ

赤羽末吉	42, 43
秋野不矩	42
秋山亜由子	16
あまんきみこ	32
アンダーウッド, デボラ	34
安野光雅	38, 41
飯野和好	4, 13
イーラ	23
池田竜雄	37
石井桃子	6, 11, 42
石亀泰郎	11
石川直樹	38
板橋雅弘	38
伊藤秀男	33
乾米里子	24
井上荒野	25
今江祥智	42
岩崎ひろ	32
岩村和朗	18
ウィリアムズ, ガース	34
ヴィルヘルム, ハンス	35
ウエタシンハ, シビル	33
上野紀子	8
ウォージントン, セルビ	9
ウォージントン, フィービ	9
ウォッツ, バーナデット	41
内田麟太郎	15, 20
ウングレー, トミー	19
エアルブルッフ, ヴォルフ	12
エインワース, ルース	17
エッツ, マリー・ホール	27, 29
大川悦生	42
大島妙子	34
太田大八	14, 42
大塚勇三	43
大村百合子	17, 19
岡本雄司	7
オクセンバリー, ヘレン	11, 16
おくはらゆめ	5
小沢俊夫	42
小野木学	32
オルセン, イブ・スパン	20

## か

カーク, ダニエル	22
ガーグ, ワンダ	25
カール, エリック	9

甲斐信枝	40
柿本幸造	21
加古里子	15, 20, 40
片山健	10
加藤休三	15
ガルラー, ヘルガ	27
川田健	40
川端誠	34
神沢利子	40
キーツ, エズラ・ジャック	9, 28
岸田衿子	5, 8, 18
木島始	33
北川民次	43
木下順二	42
キングマン, リー	24
クーニー, パーバラ	24, 37
クック, バーナディン	5
クラウス, ルース	24
クラジラフスキー, フィリス	6
栗林慧	18
グレアム, マーガレット・プロイ	22, 38
グレーニエツ, ミカル	13
黒井健	36
グロスマン, ロバート	26
ケル, ジュディス	5
小出正吾	9
こいでたん	8
小出保子	8
香山美子	21
小風さち	10
小林豊	35
五味太郎	29, 40
コヨセジュンジ	5

## さ

さいとうしのぶ	26, 41
斎藤隆介	35
サイモント, マーク	15, 24
酒井駒子	29
佐藤忠良	33, 43
佐藤雅彦	37
さとうわきこ	8, 19, 40
佐野洋子	38
ジェラーム, アニタ	37
ジェンキンス, スティーブ	40
ジオン, ジーン	22, 38
柴田愛子	33
清水崑	42

下田智美	40
シャーリップ, レミー	5, 28
シュルヴィッツ, ユリー	39
ショーエンハール, ジョン	36
ジョンソン, クロケット	24
新宮晋	6, 34
菅原たくや	31
スギヤマカナヨ	39
スズキコージ	43
鈴木まもる	5, 27
スタイグ, ウィリアム	39
ステッド, エリン・E	12
ステッド, フィリップ・C.	12
スピア, ピーター	11, 35
ズマトリーコバー, ヘレナ	28
スロボドキーナ, エズフィール	13
スロボドキン, フローレンス	21
スロボトキン, ルイス	21
セイラー, マイク	26
瀬川康男	25, 42
瀬田貞二	42
センダック, モーリス	14
ソロトウ, シャーロット・シャピーロ	23, 32

## た

高樓方子	26
たかはしきよし	26
高島那生	20
滝平二郎	35
竹下文子	5, 27
武田美穂	36
田島征三	36, 42
田島征彦	34
多田多恵子	40
田中清代	25
谷川晃一	41
谷川俊太郎	10, 13, 30, 40
田畑精一	31
たむらしげる	4
チャルマーズ, メアリ	23
長新太	15, 18, 31, 40
ツイーフエルト, ハリエット	30
つちだのぶこ	20
土屋富士夫	7
筒井頼子	23
デュボアザン, ロジャー	33
テュレ, エルヴェ	10
寺村輝夫	31

テルリコフスカ, マリア	40
ドーハーティ, ジェームス	30
時田史郎	42
得田之久	26
ドノフリオ, ビバリー	37
富成忠夫	40
富安陽子	27
豊田一彦	7

## な

なかえよしを	8
中川宗弥	11
中川千尋	5
中川ひろたか	4, 13
中川李枝子	17, 19
中谷千代子	5, 12, 18
長野ヒデ子	31
長野博一	8
なかのひろたか	6
中村翔子	18
中村牧江	25
なかやみわ	20
中山千夏	37
新美南吉	36
西内みなみ	17
西巻茅子	10
にしむらあつこ	28
西村繁男	15, 28
西村敏雄	24
ニノン	6
ヌードセン, ミシェル	36
ノッツ, ハワード	32

## は

ハード, クレメント・G.	9
バートン, ヴァージニア・リー	23, 30, 35
バーニンガム, ジョン	11, 15, 23
長谷川摂子	16, 27, 40
長谷川義史	14
はたこうしろう	18, 22
ハッチンス, パット	7, 29
馬場のぼる	18
浜田広介	37
林明子	13, 23, 33, 40
林健造	25
東力	39
平野直	42
平山和子	40

ピンクニー, ジェリイ	39
ファティオ, ルイーゼ	33
方軼羣	19
フィスター, マーカス	23
フィッシャー, ハンス	17, 41
福田岩緒	32
福田隆義	25
二俣英五郎	8, 33
ブテンコ, ボフダン	40
ブラウン, アイリーン	24
ブラウン, マーガレット・ワイズ	9
ブラウン, マーシャ	6, 43
ブラウン, マイラ・ベリー	26
フラック, マージョリー	4
フリーマン, ドン	16
降矢なな	16, 27
ブリュノフ, ジャン・ド	35
古田足日	31
ブレイク, ステファニー	12
ベームルマンズ, ルドウィッヒ	17
ベスコフ, エルサ	14, 26
ベチシカ, エドアルド	28
ホークス, ケビン	36
ホール, ドナルド	37
ポーンスタイン, ルース	6
ポター, ピアトリクス	38
ホフマン, フェリクス	41
堀内誠一	17
堀川理万子	40
ホルツヴァルト, ヴェルナー	12

## ま

マクブラットニー, サム	37
マクリントック, バーバラ	37
マケリゴット, マシュー	31
ましませつこ	41
松居直	42
松岡享子	13
松岡達英	40
マックロスキー, ロバート	32
松谷みよ子	42
松野正子	25, 33
マリノ, ドロシー	17, 26
マレーク, ベロニカ	28
三浦太郎	9
宮越暁子	27
向田智也	40
村上康成	13

村上祐子	10
村山知義	19
茂木透	40
元永定正	10
森絵都	39

## や

やぎゅうげんいちろう	40
矢間芳子	40
八島太郎	32
やすいすえこ	32
藪内正幸	40
山口マオ	10
山田三郎	43
山本孝	20
山本忠敬	9, 18, 40
ヤンドゥル, エルンスト	21
ユードリイ, ジャニス・メイ	15
ユーフラテス	37
ユング, ノルマン	21
ヨーレン, ジェーン	36
横内襄	6
吉崎正巳	40
吉田尚令	38

## ら

ラチョフ, エフゲーニ・ミハイロヴィチ	43
リーフ, マンロー	24
リウスカ, レナータ	34
ルカイユ, オルガ	13
レオニ, レオ	4
レンタ, シャロン	21
ローズ, ジェラルド	22
ローゼン, マイケル	16
ローソン, ロバート	24
ローベル, アーノルド	36, 39
ローベル, アニタ	30

## わ

ワード, リンド	31
脇田和	43
ワスネツォフ, ユーリー	43
和田誠	30, 37
渡辺茂男	18
わたりむつこ	12